

結果の概要

1 集計について

(集計期間)

罹患年月日（がんと診断した年月日）が、平成 25 年（2013 年）1 月 1 日から平成 25 年（2013 年）12 月 31 日の 1 年間

(集計の対象)

ICD-O-3（国際疾病分類腫瘍学第 3 版）分類上の組織コードが性状 2（上皮内）と 3（悪性、浸潤性）に該当する全部位。ただし、脳腫瘍は良性も含む。

(集計方法)

地域がん登録では、医療機関から提供されたがん患者の診断情報を登録する一方、人口動態統計によるがん死亡情報を照合することにより、個々の患者の罹患状況と生存状況を把握する。

登録した結果、人口動態統計によりがん死亡情報のみが存在し、患者情報が登録されていない場合は、医療機関からの報告漏れとして、がんによる死亡診断をした医療機関にがん罹患情報の報告を依頼（遡り調査）し、実態把握の精度を高める。遡り調査の結果、報告のあった患者情報も含め、医療機関から報告のあったがん患者数と死亡情報のみで把握しているがん死亡者数の合計を全体のがん罹患数とする。

2 罹患の概要

平成 25 年（2013 年）の和歌山県における罹患数は、男性 4,998 件、女性 3,730 件の合計 8,728 件であり、粗罹患率（人口 10 万対）は、男性 1,089.4、女性 719.7、年齢調整罹患率（人口 10 万対）は、男性 513.0、女性 383.2 であった。ただし、下記の「3 届出精度の状況」で説明しているとおり、登録漏れ患者や把握不可能なケースもあるため、真の罹患数を示しているものではないことに留意する必要がある。

※罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率には上皮内がんを含んでいる。

3 届出精度の状況

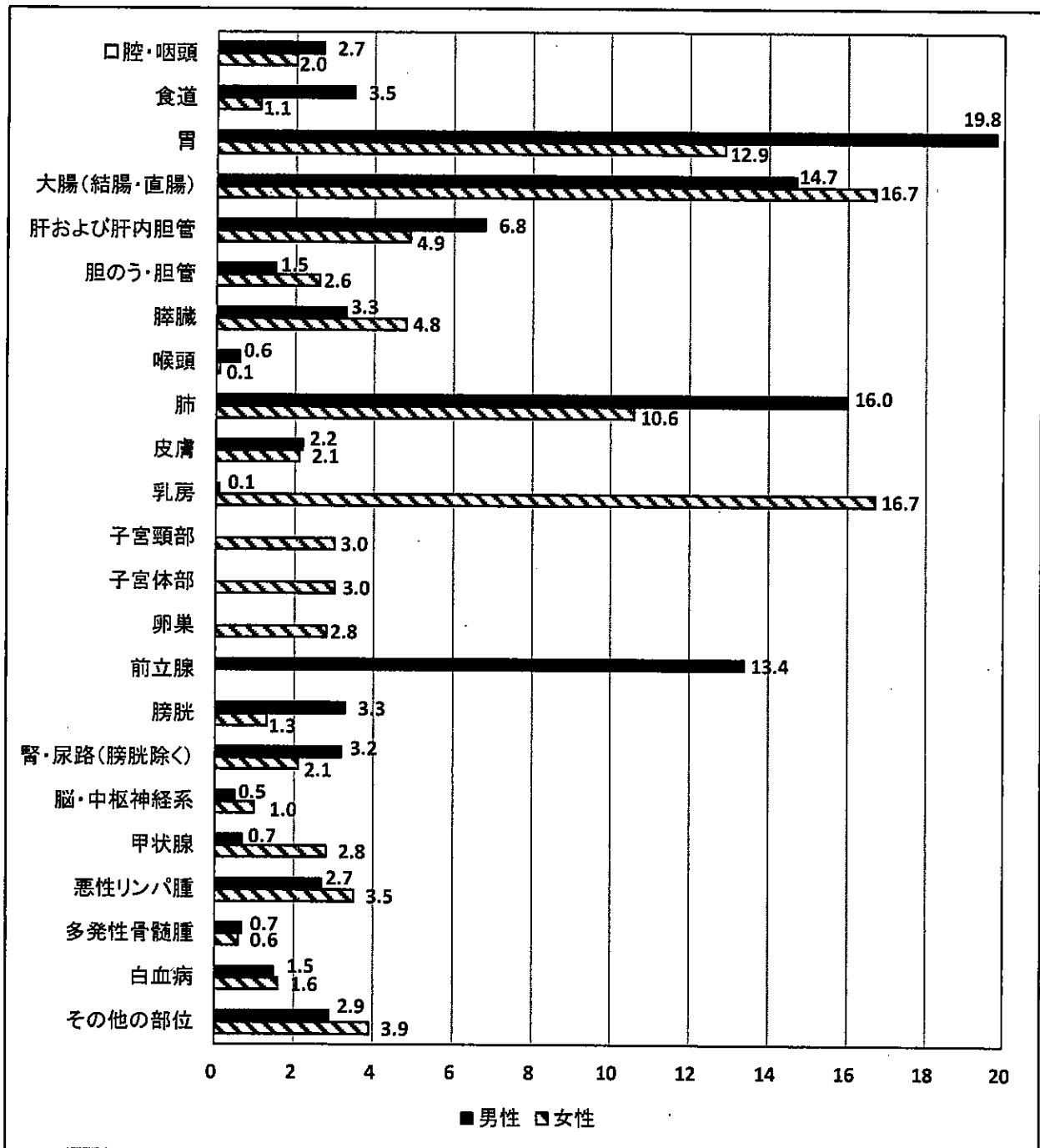
地域がん登録の精度を評価するにあたり、DCN と DCO（用語の定義については前述用語の解説参照）といった指標が用いられるが、今回の集計結果における DCN は 9.3%、DCO は 6.7%、MI 比は 0.39 であった。

本県の届出精度については、国立がん研究センターが提供する全国がん罹患モニタリング集計 2013 年罹患数・率報告（MCIJ2013）の精度基準 A を達成している。これは、がん登録に対する県内医療機関のご理解とご協力によるものであり、引き続き、精度を維持できるよう、届出の協力依頼や遡り調査を実施していきたい。

以下で使用した全国平均は、全国がん罹患モニタリング集計 2013 年罹患数・率報告（MCIJ2013）によった。

罹患割合(%)：部位別・性別

男性の罹患割合で最も多いのが、胃がんであり、次いで肺がん、大腸がん（結腸+直腸）、前立腺がんである。女性で最も多いのが、乳がんと大腸がん（結腸・直腸）であり、胃がん、肺がんと続く。

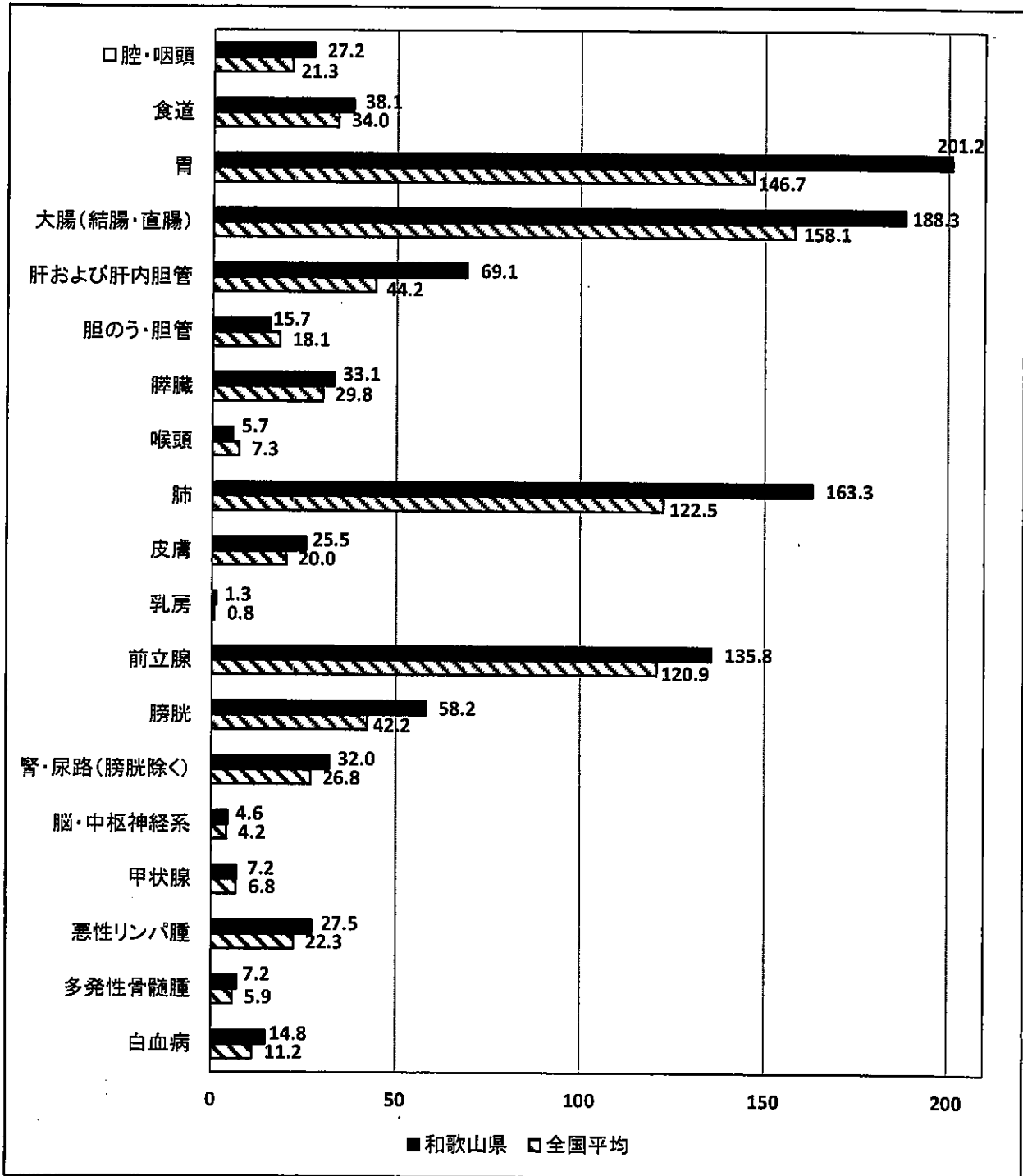


※ 大腸の内訳：(男性) 結腸 9.5、直腸 5.2 (女性) 結腸 12.0、直腸 4.7

※ 標準集計表の表 1-A から作成

部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

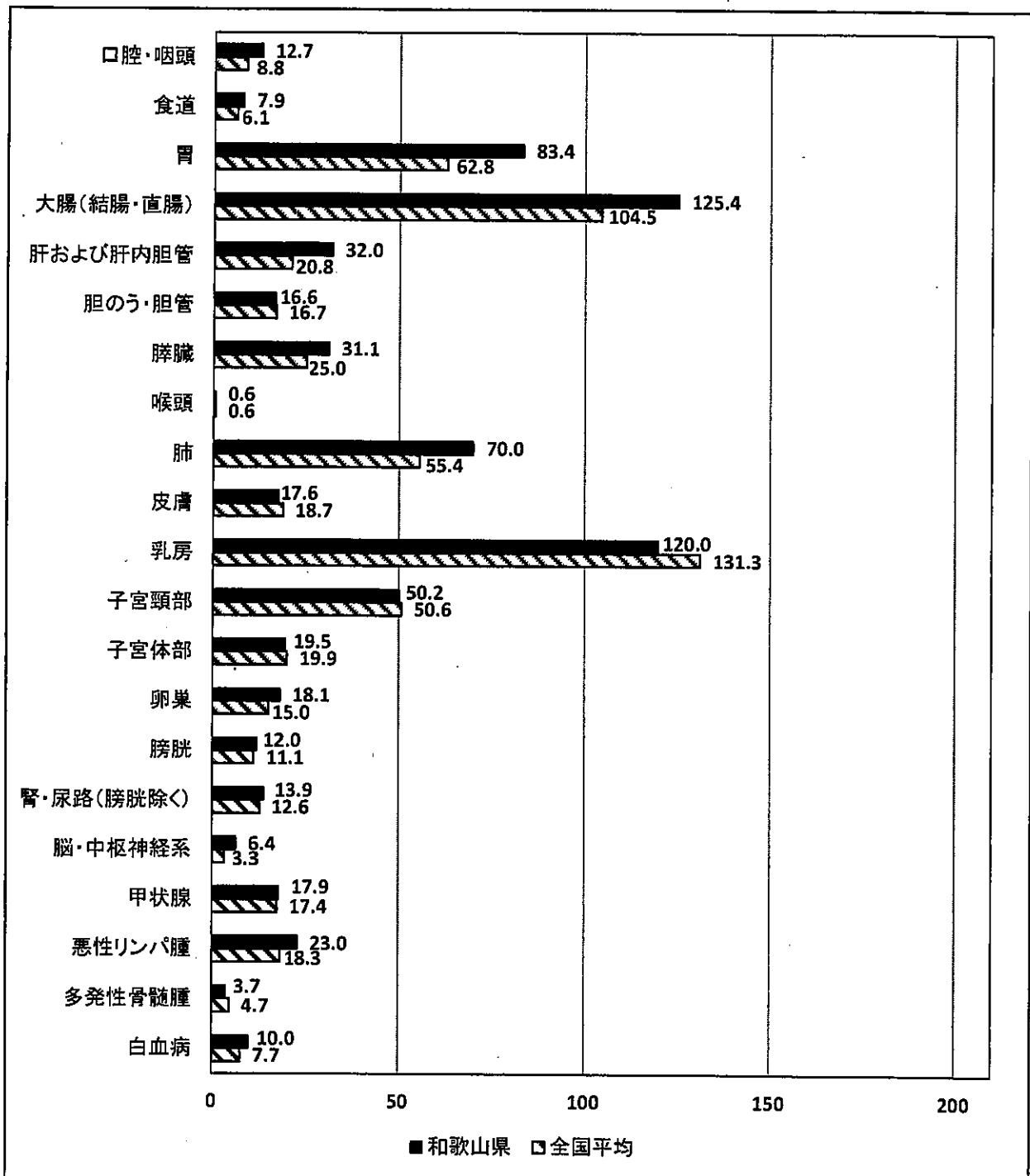
全国平均との比較で見ると、男性ではほぼすべての部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がんが顕著に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

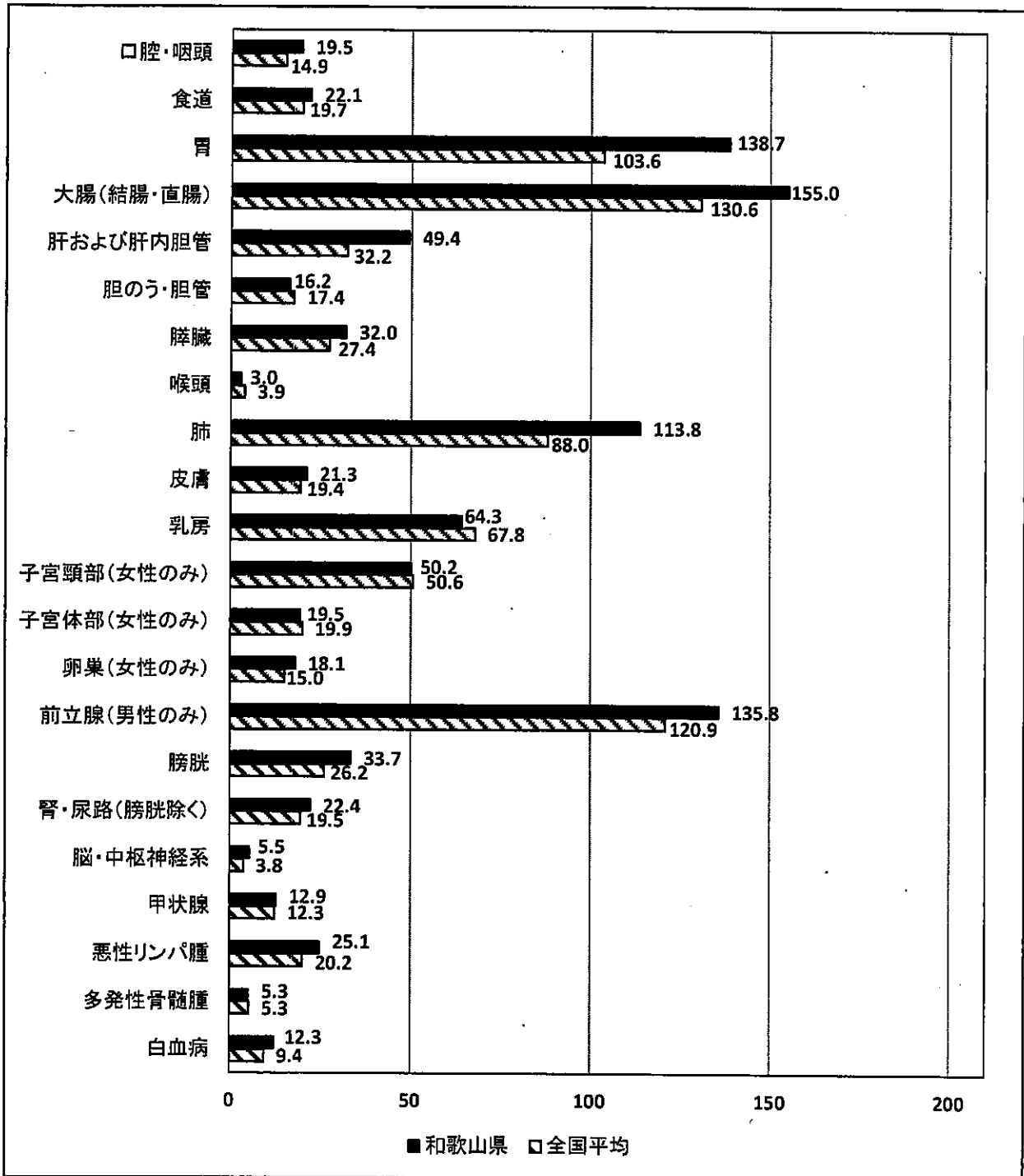
全国平均との比較でみると、女性でもほとんどの部位が全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肺がんが顕著に高くなっている。また、乳がん、皮膚がん、多発性骨髄腫は、全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

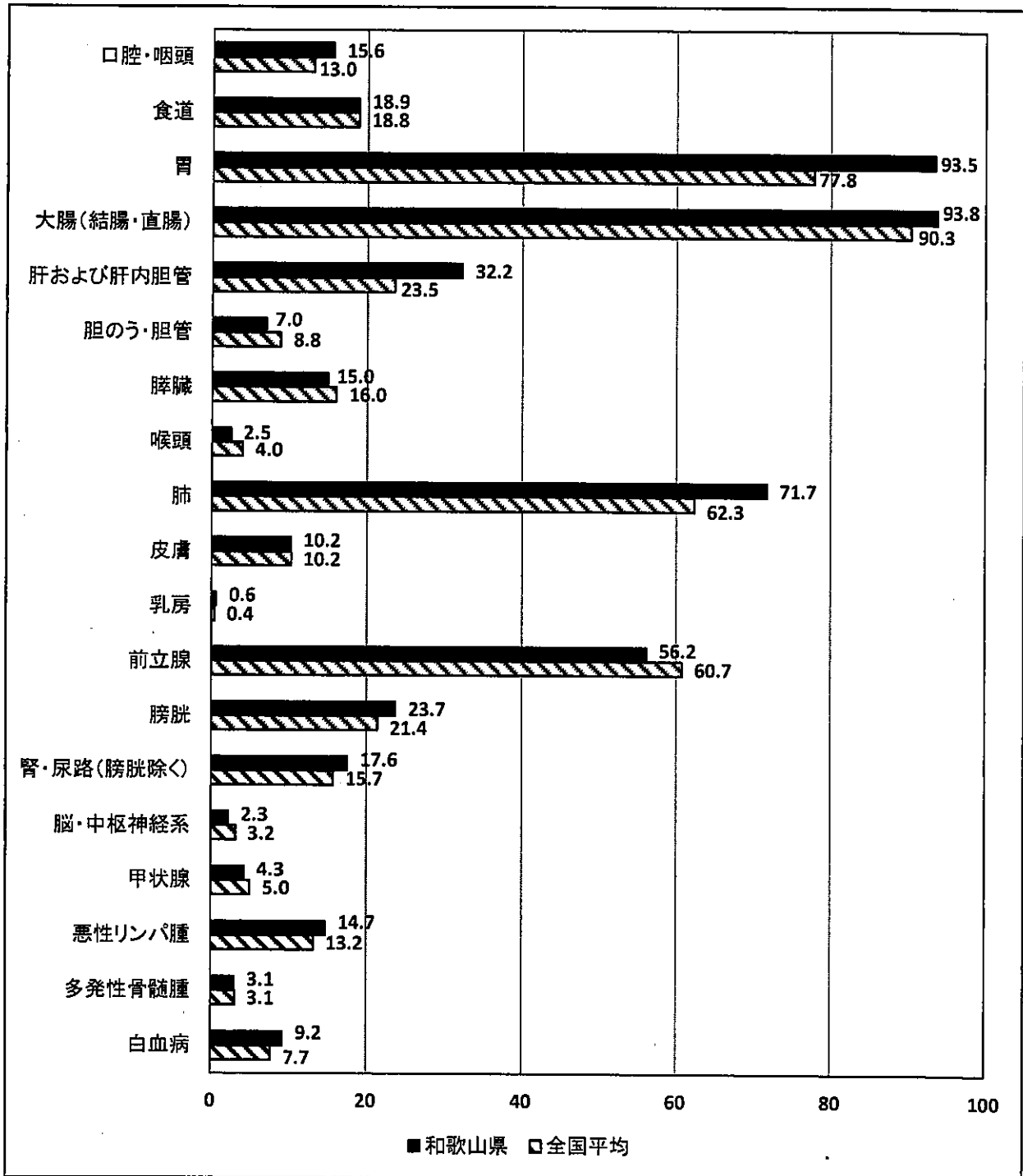
全国平均との比較で見ると、胃がん、大腸がん（結腸＋直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんなどで、全国平均より高い粗罹患率となっている。また、胆のう・胆管がん、乳がんは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

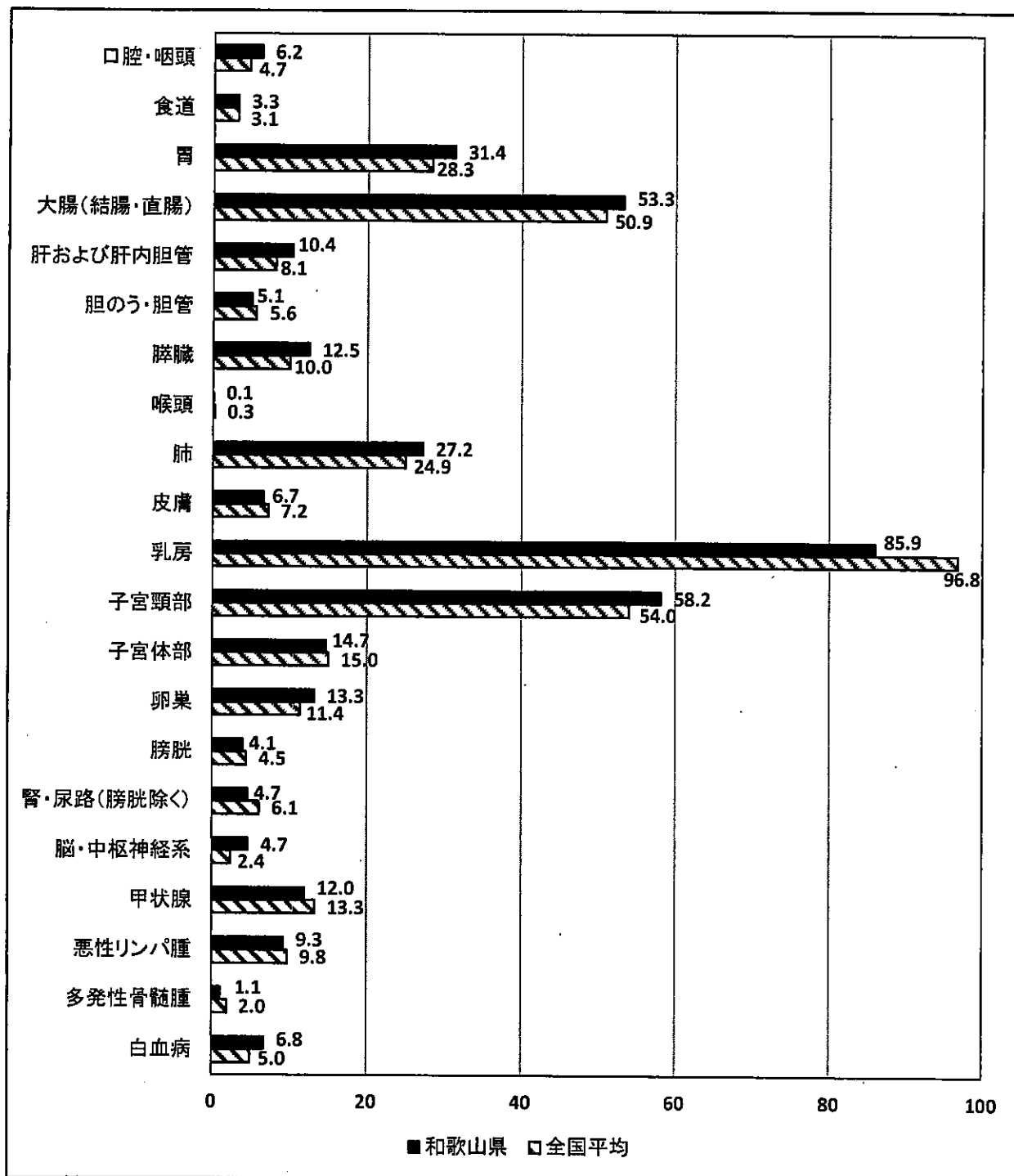
男性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まっているが、胃がん、肝及び肝内胆管がん、肺がんは、調整後も全国平均との差は大きくなっている。しかし、粗罹患率で全国平均より高かった前立腺がんは、低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

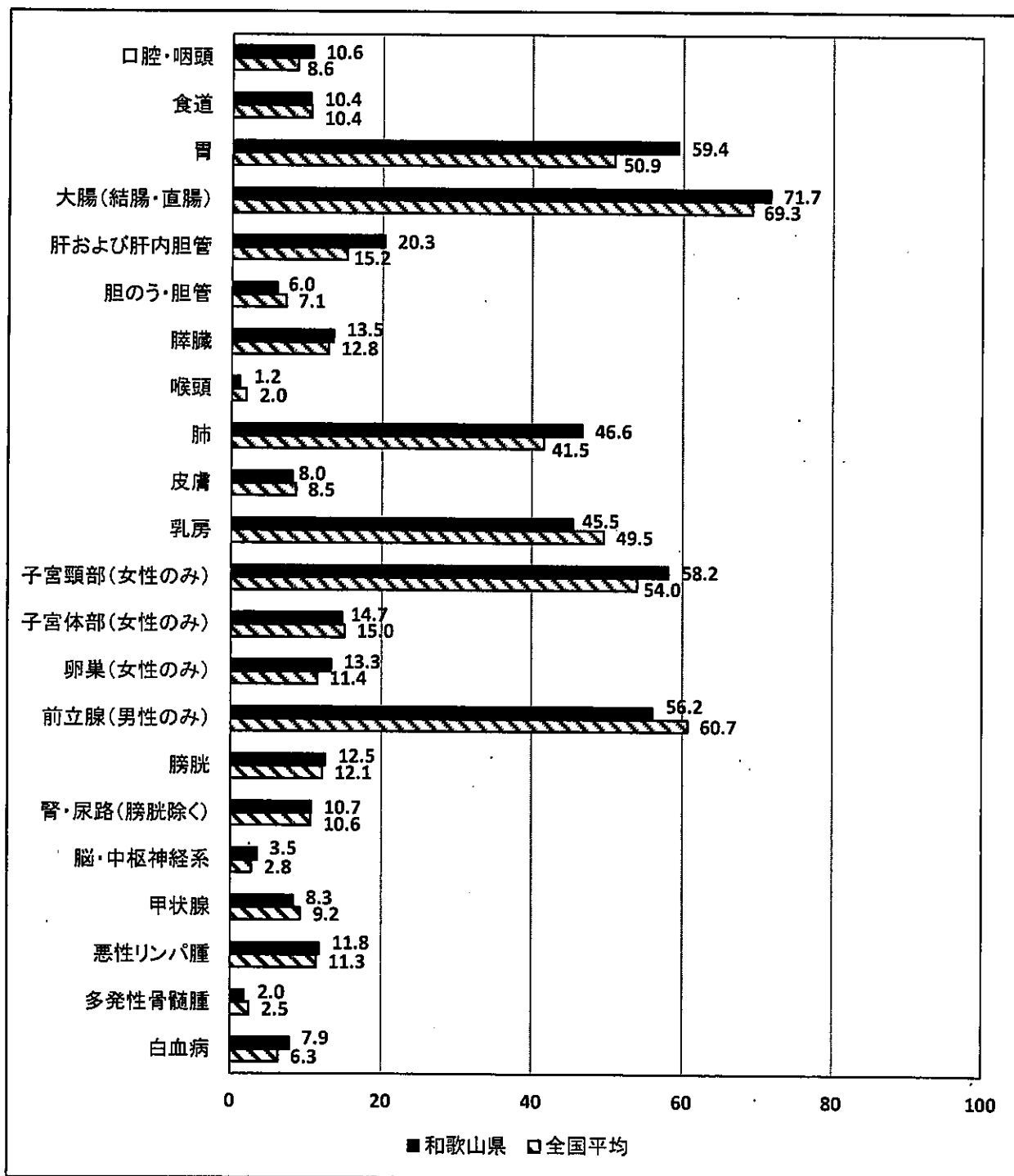
女性の罹患率は、年齢調整をすることにより、全国平均と比較して、乳がんは粗罹患率と比べて、更に差が広がっている。また、乳がん以外の部位は、全国平均と比較すると、その差が小さくなっているが、子宮頸がんは逆に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の罹患率は、年齢調整をすることにより、全国平均と比較して、胃がん、大腸がん、肝および肝内胆管がん、肺がんは差が縮まっており、前立腺がんは低くなっている。しかし、子宮頸がんは年齢調整をすることにより、全国平均より高くなっている。

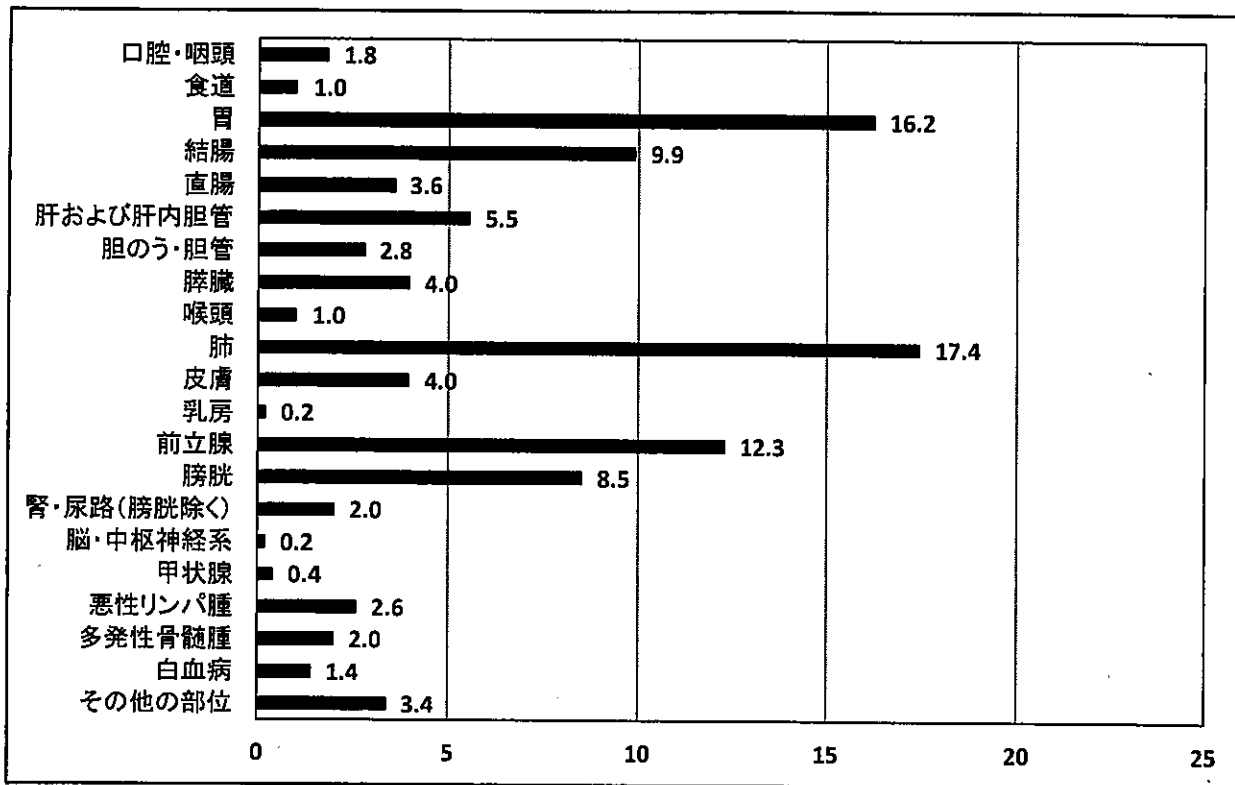


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

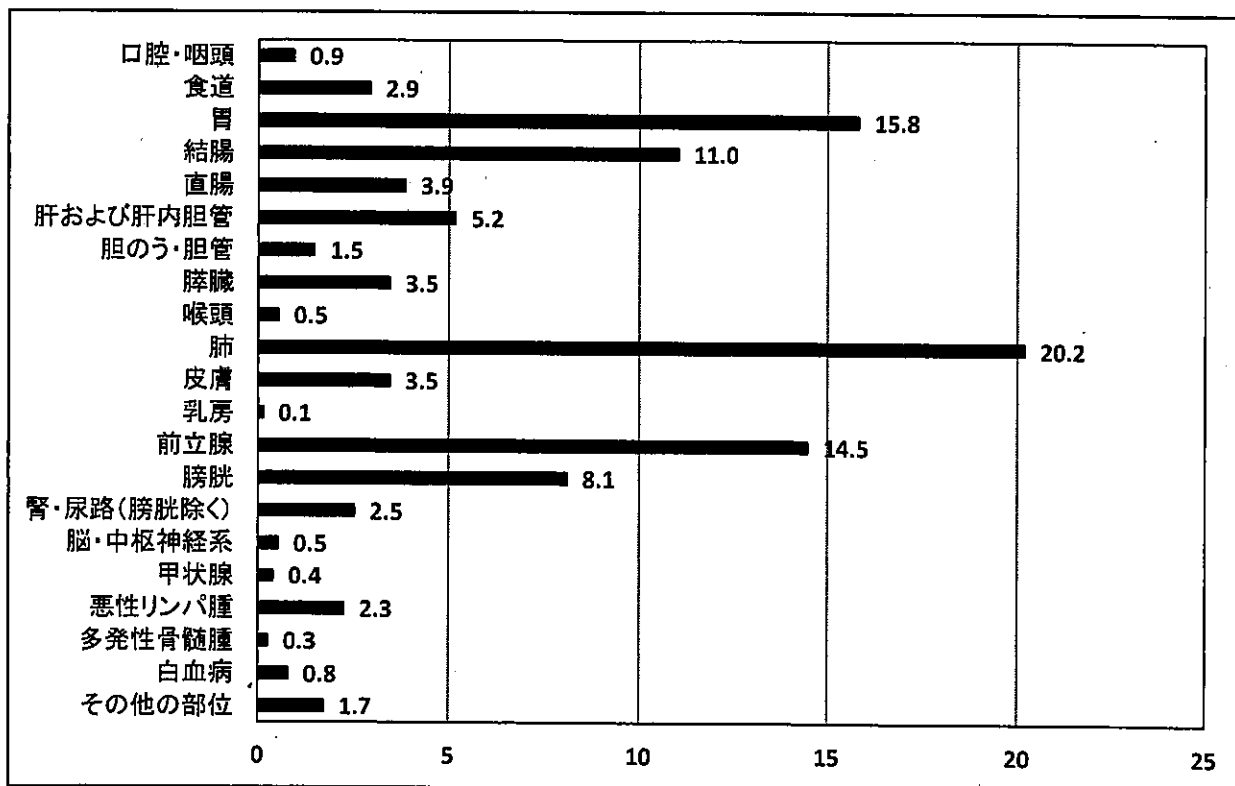
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別(男性) ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

80歳以上では、胃がん、肺がん、前立腺がん、結腸がん、膀胱がんが高くなっている。

【85歳以上】

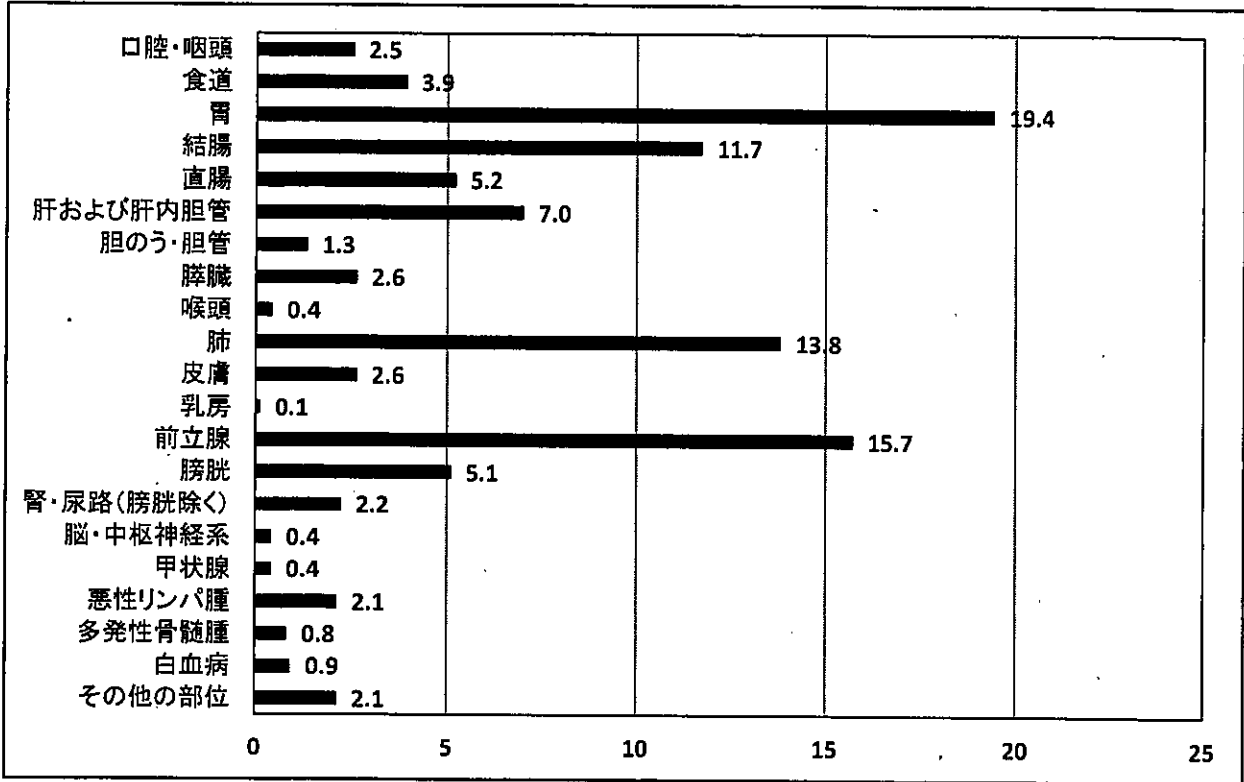


【80-84歳】

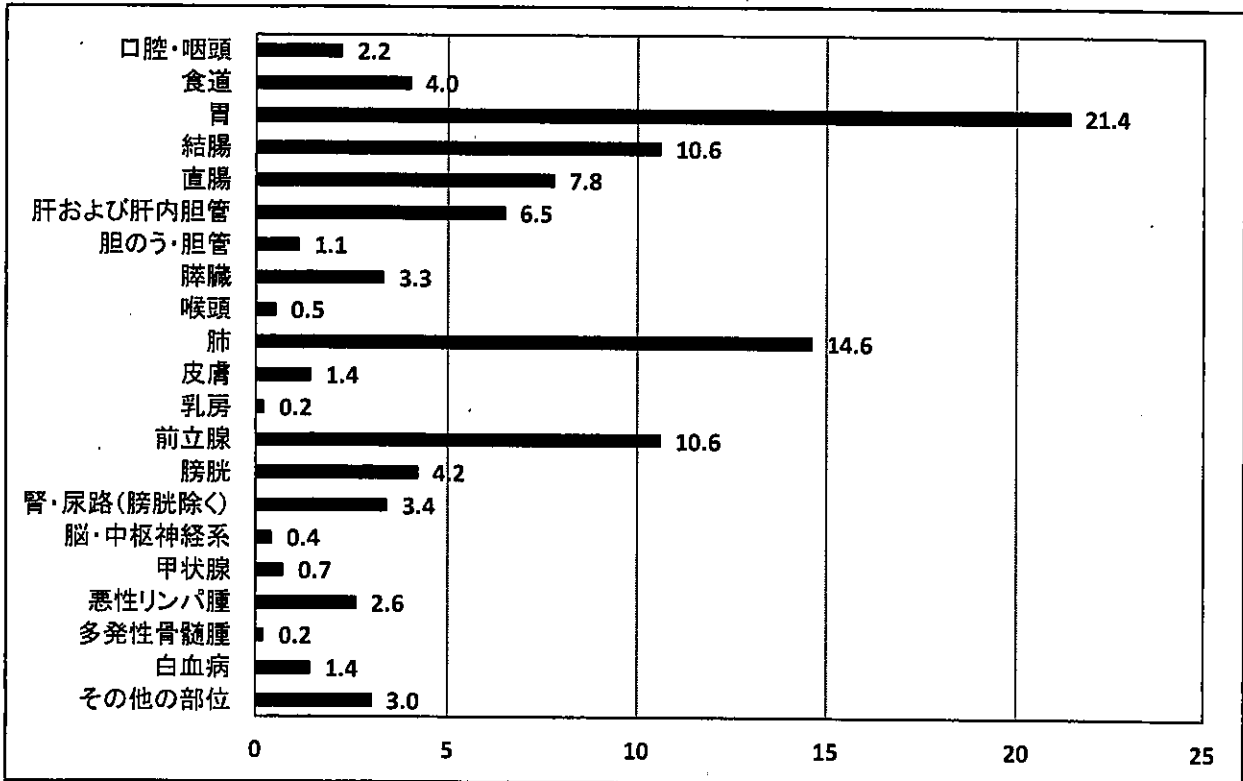


60歳代から70歳代で最も高いのは、胃がんである。次いで、70歳代では前立腺がん、肺がん、結腸がんと続き、60歳代では、肺がん、結腸がんと前立腺がんとなっている。

【70-79歳】

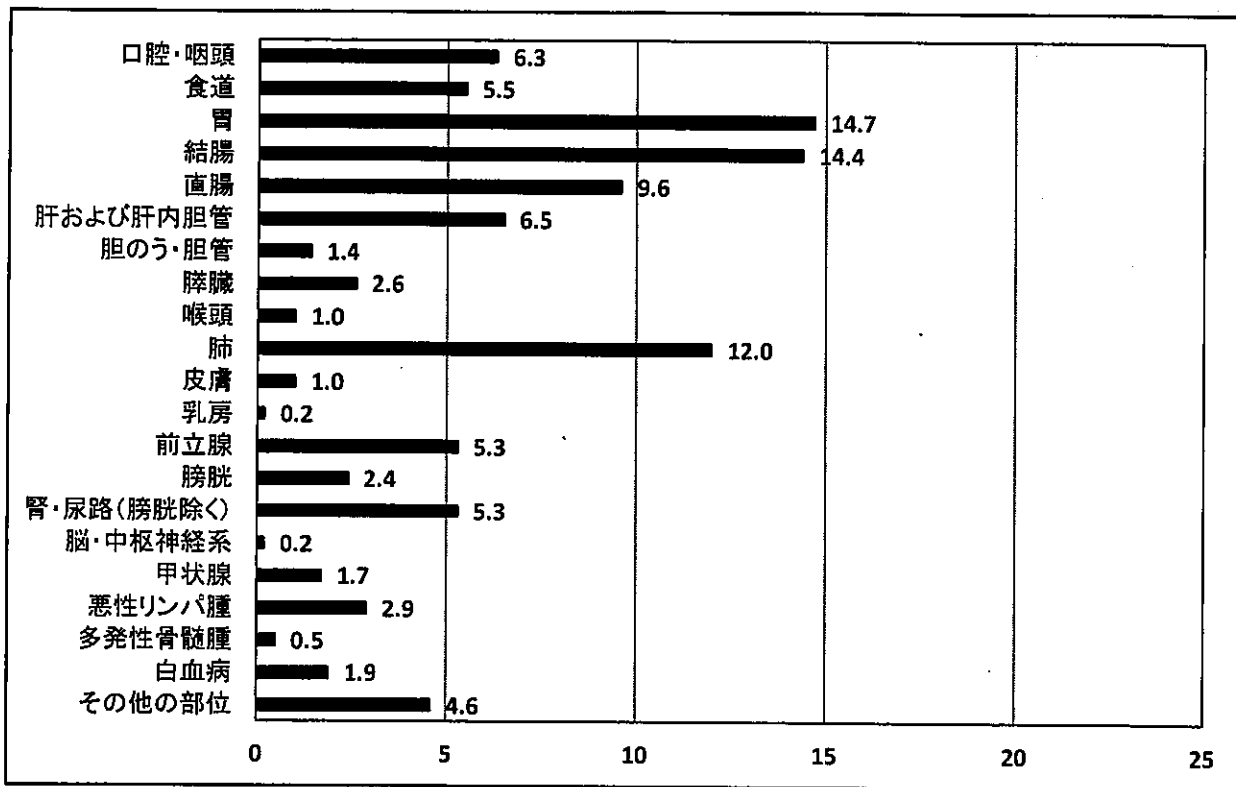


【60-69歳】

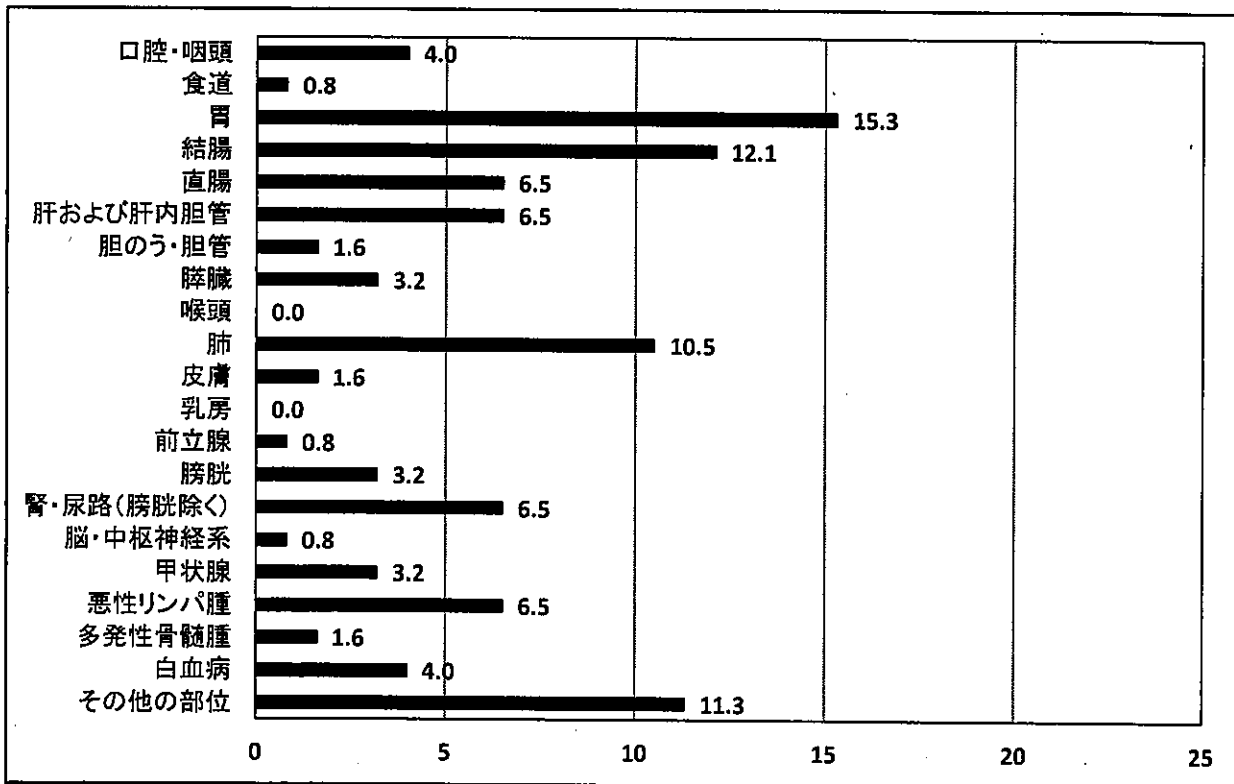


40歳代から50歳代で最も高いのは、胃がんである。次いで、50歳代では結腸がん、肺がん、直腸がんと続き、40歳代では結腸がん、その他の部位、肺がんとなっている。

【50-59歳】

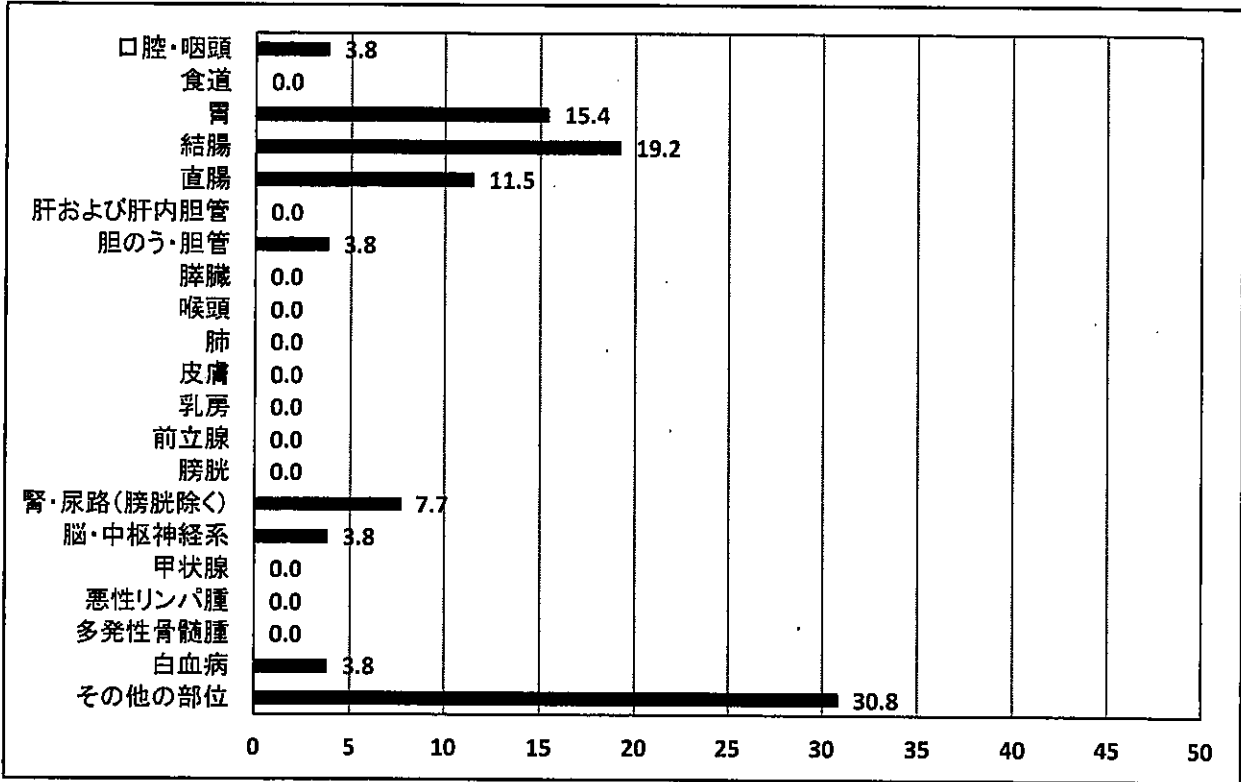


【40-49歳】

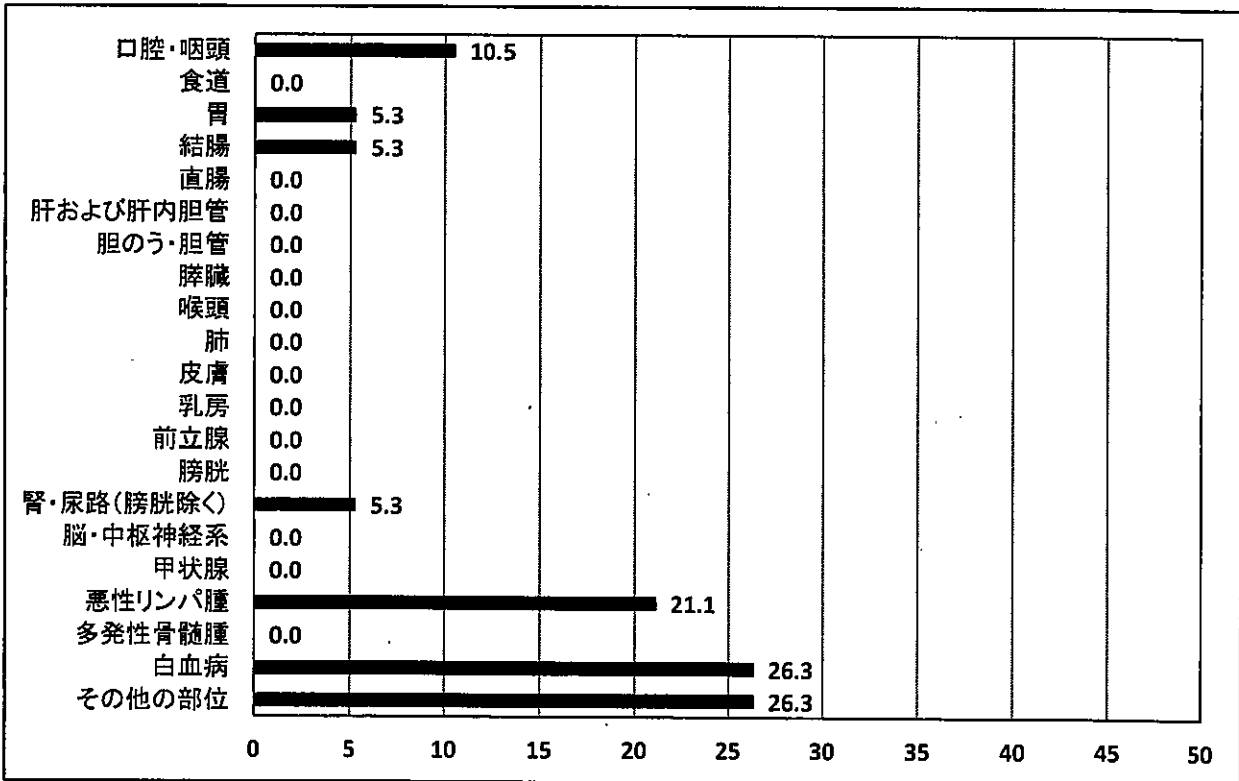


30歳代はその他部位が高く、胃がん、結腸がんや直腸がんも高い。20歳代以下では白血病やその他の部位、悪性リンパ腫が高い。

【30-39歳】



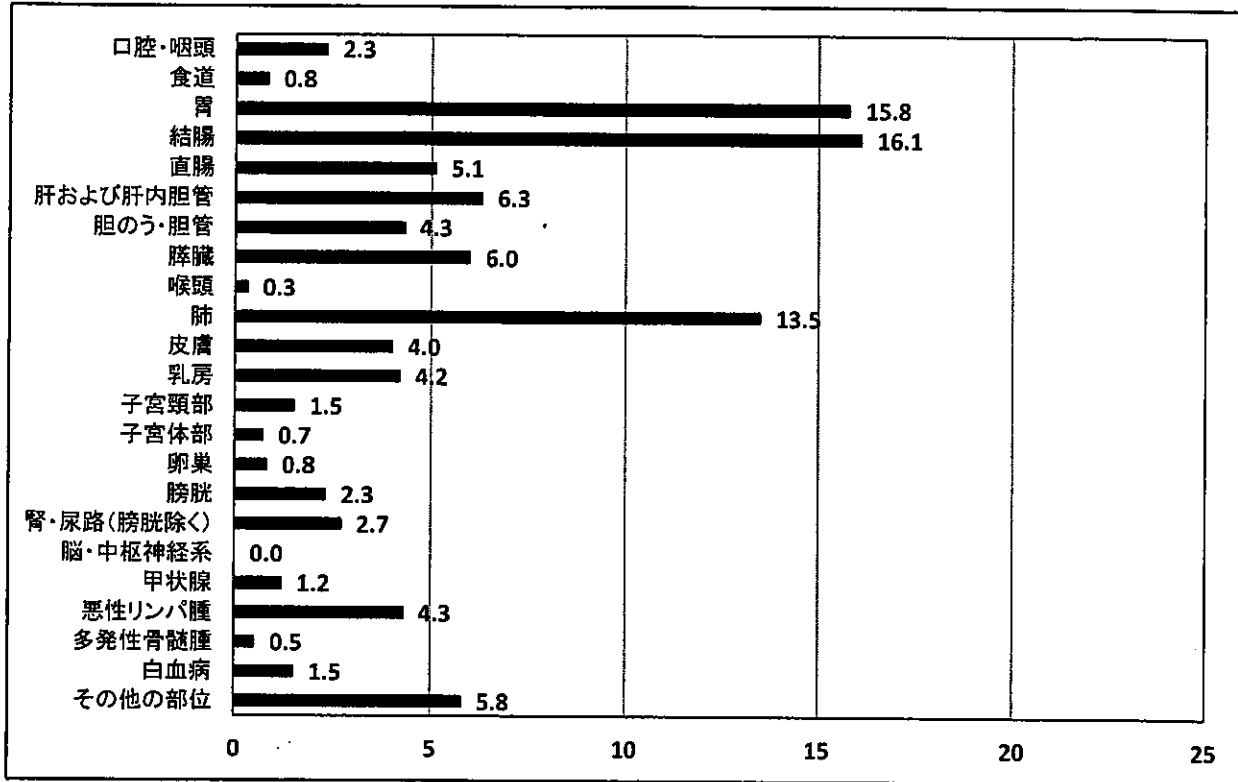
【0-29歳】



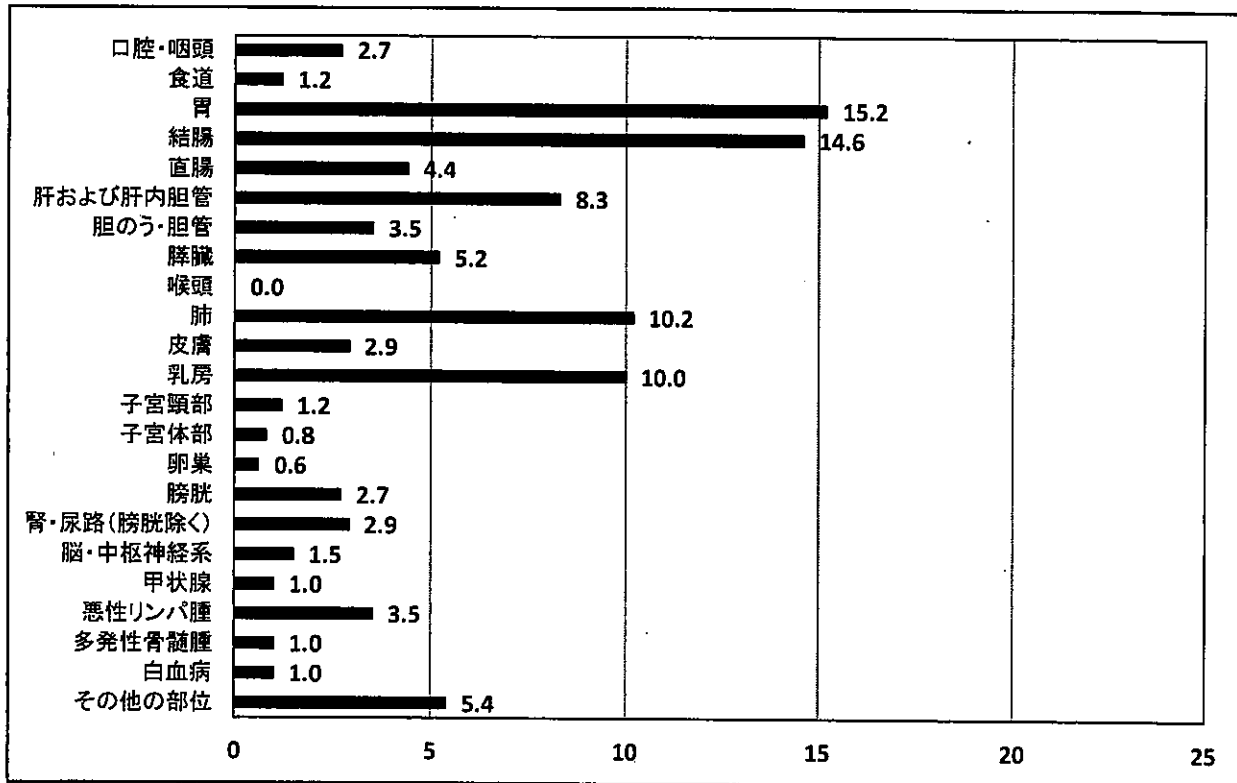
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別(女性) ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

80歳以上で胃がんや結腸がん、肺がんが高く、80-84歳では乳がんも高くなっている。

【85歳以上】

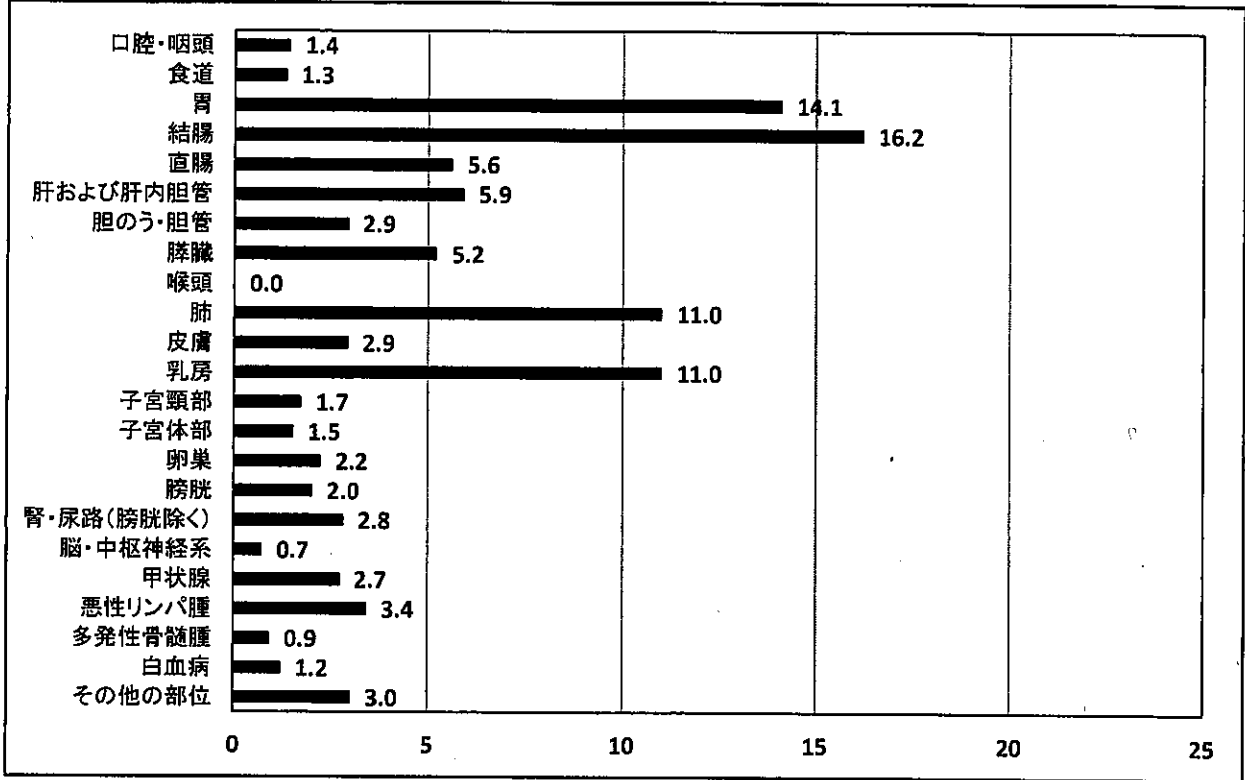


【80-84歳】

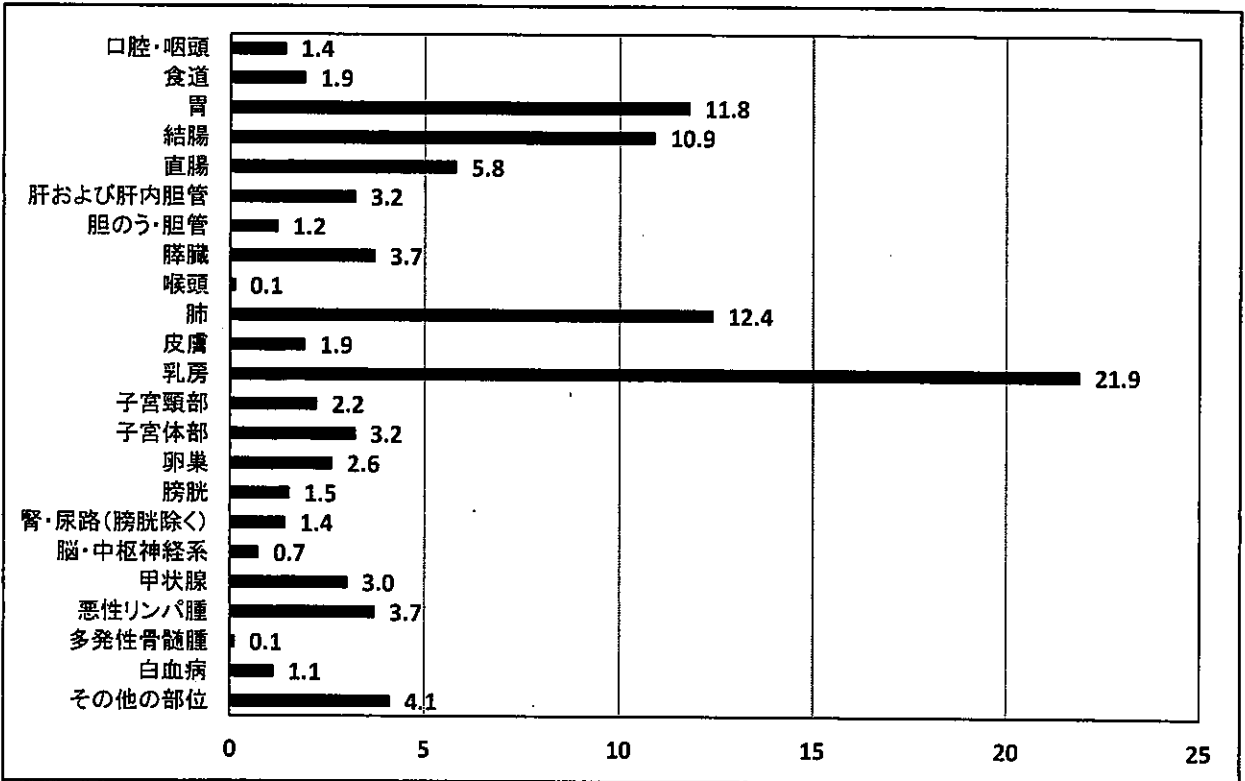


70歳代では、結腸がん、胃がん、肺がんと乳がんの順で高く、60歳代では乳がん、肺がん、胃がん、結腸がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

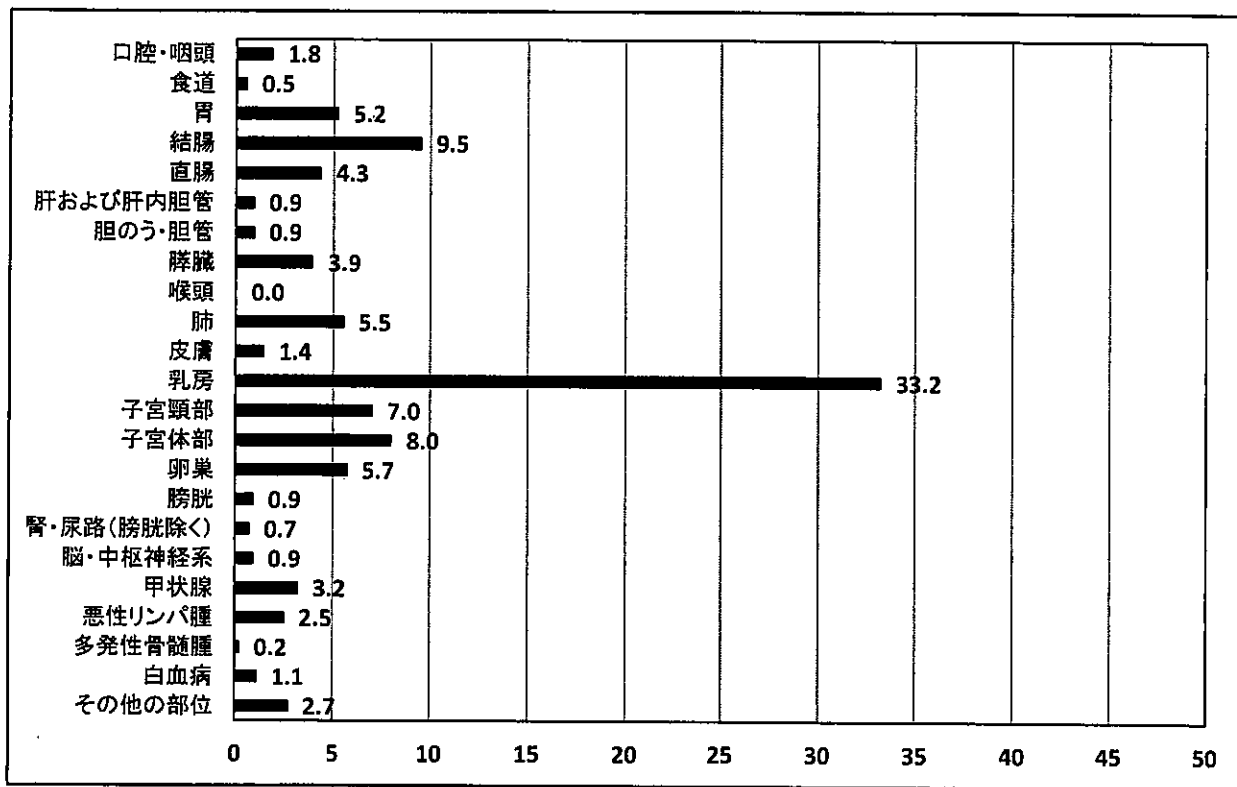


【60-69歳】

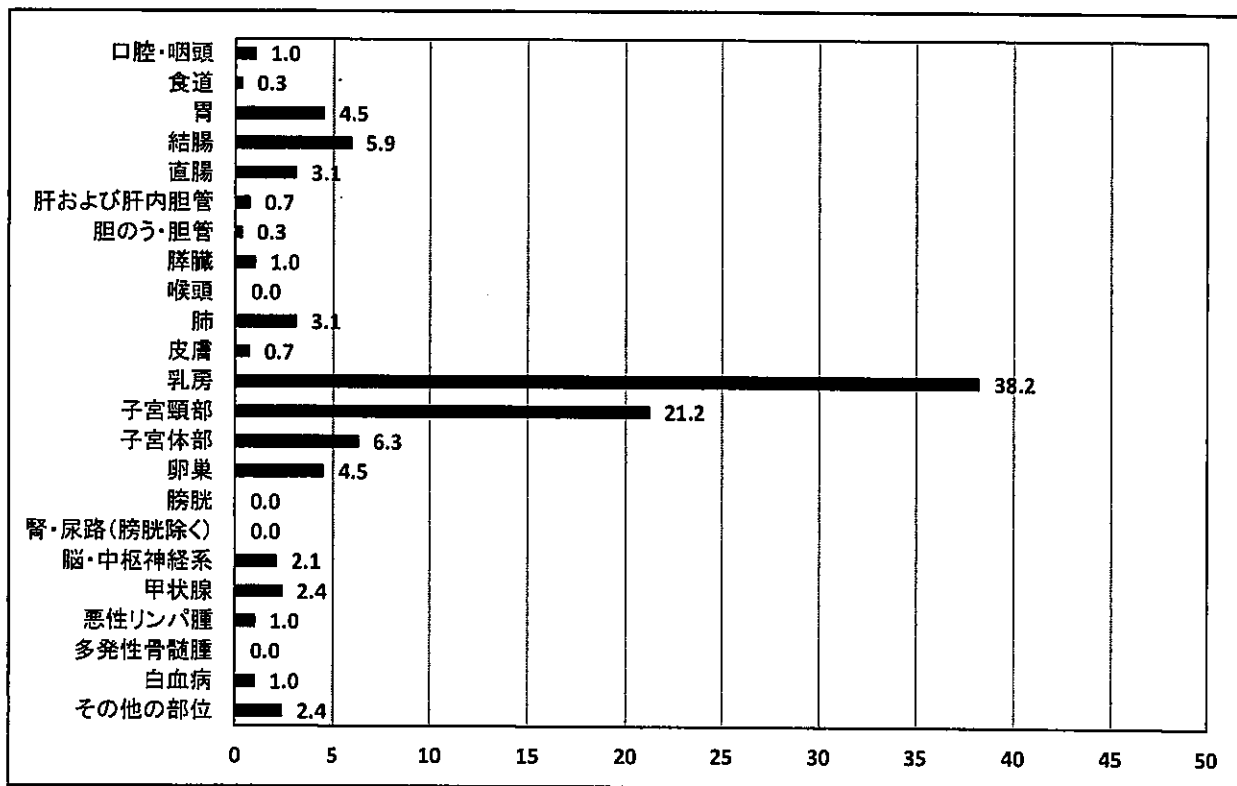


40歳代から50歳代になると、乳がんが最も高くなっており、40歳代では子宮頸がんも高い。

【50-59歳】

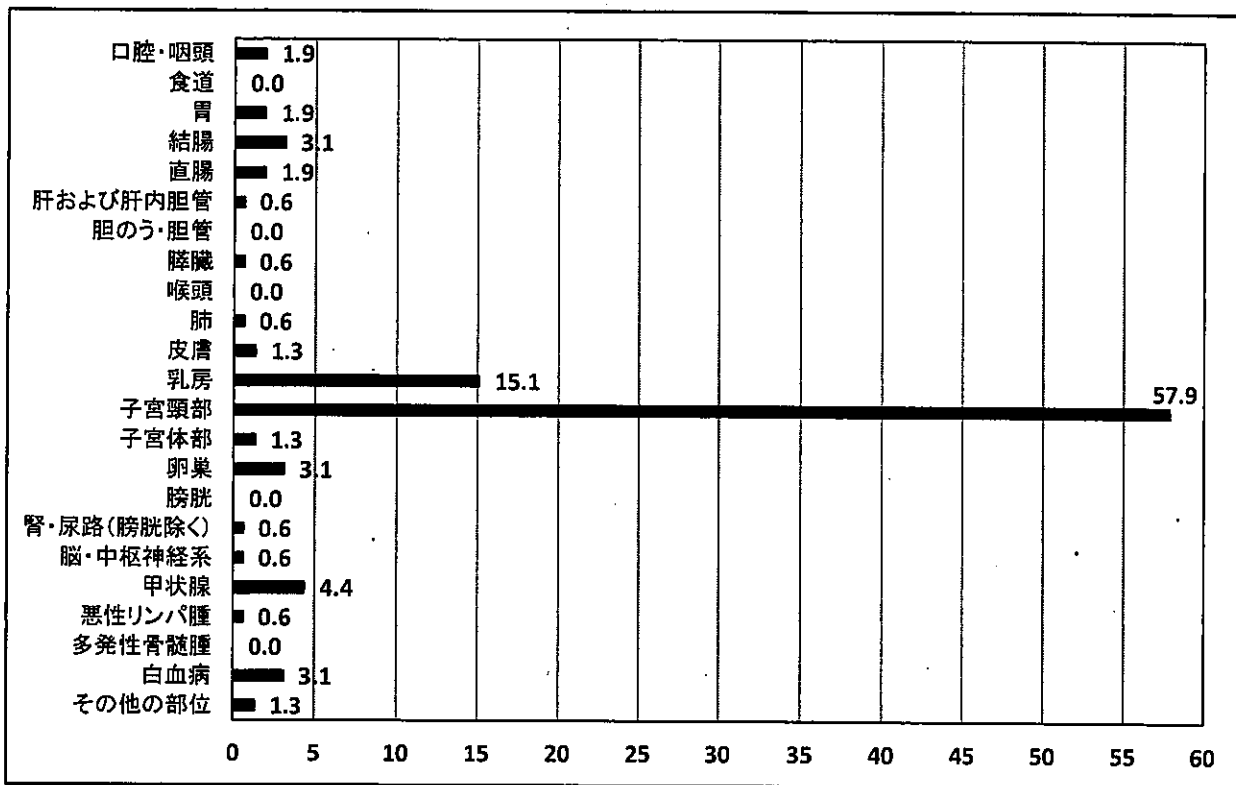


【40-49歳】

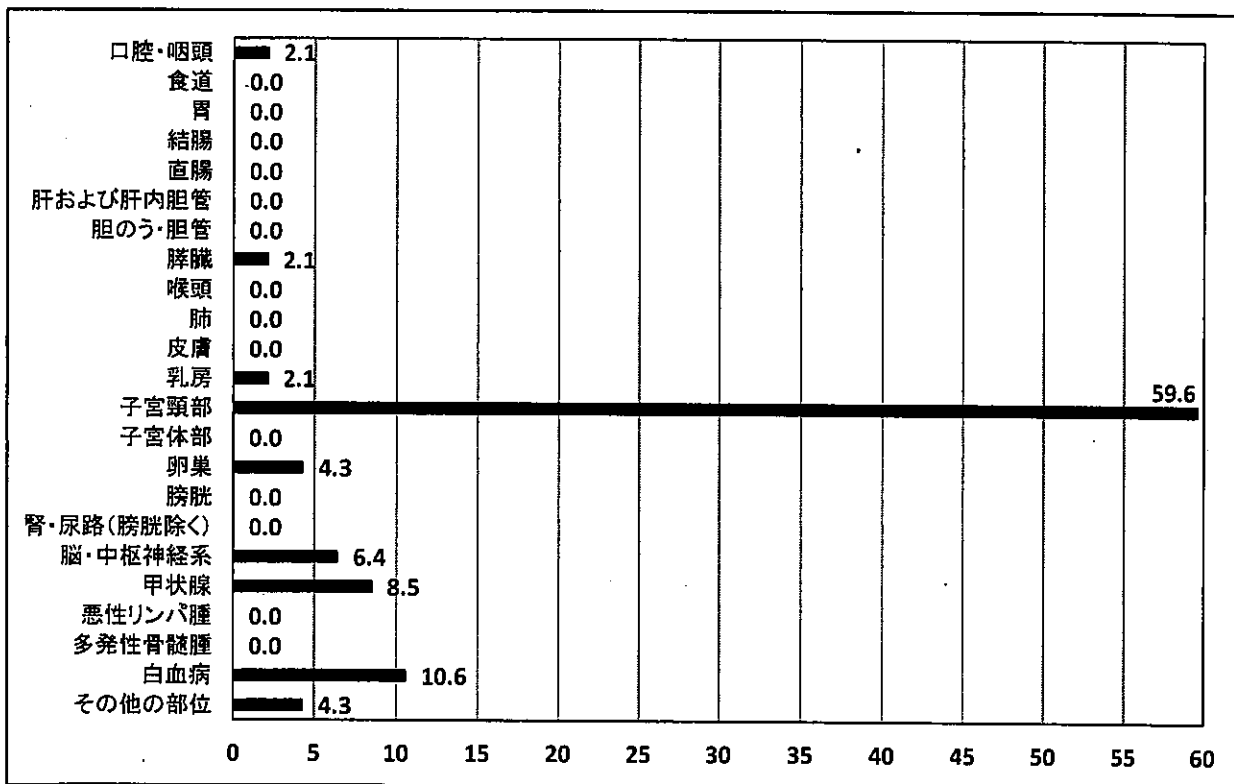


30歳代と20歳代以下ともに子宮頸がんが突出して高く、約6割を占めている。30歳代では乳がん、20歳代以下では白血病が次に高くなっている。

【30-39歳】



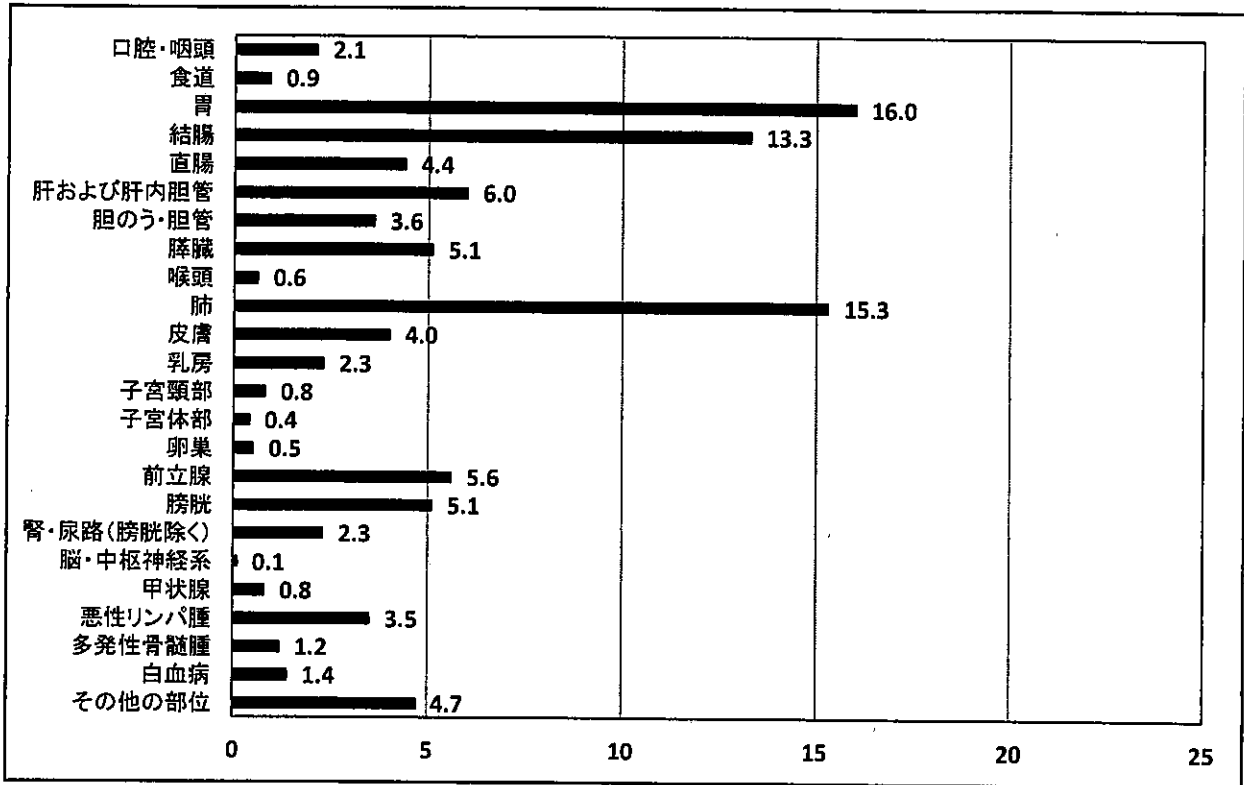
【0-29歳】



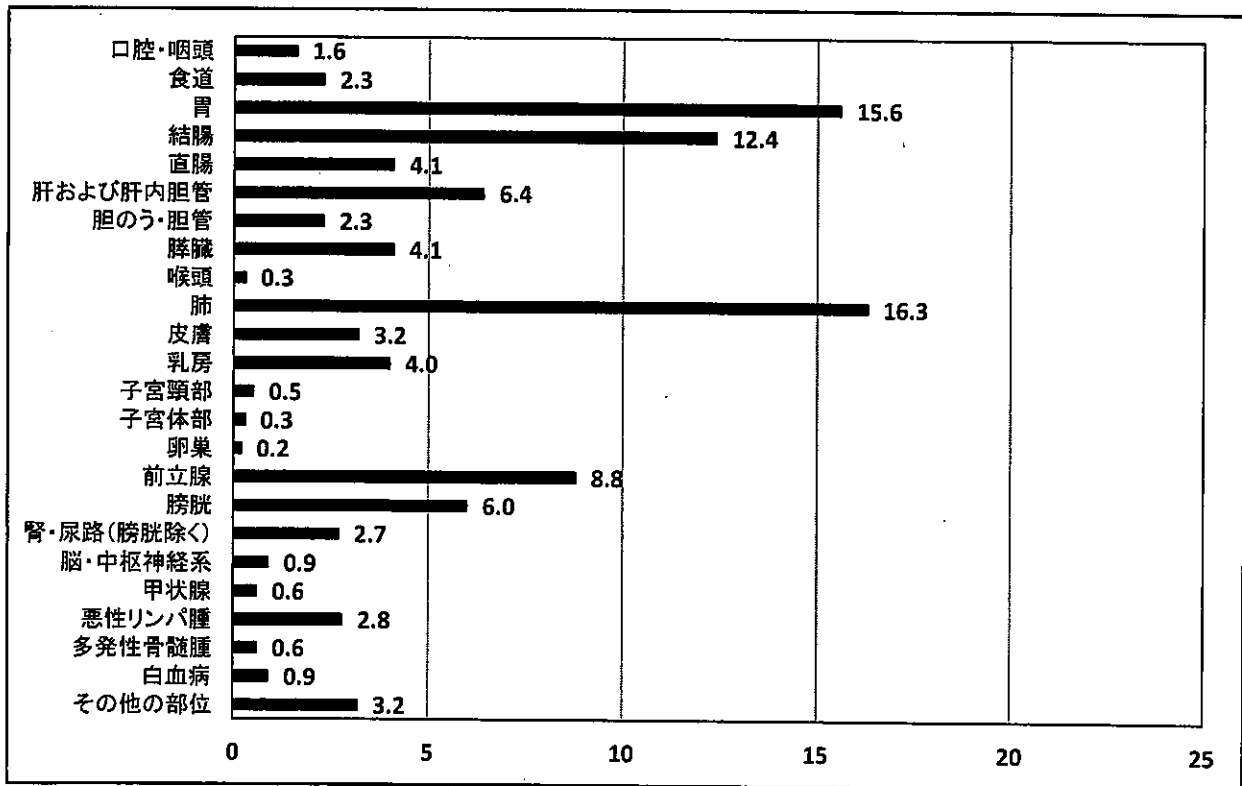
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男女計） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

80歳以上では胃がん、結腸がん、肺がんが高くなっている。

【85歳以上】

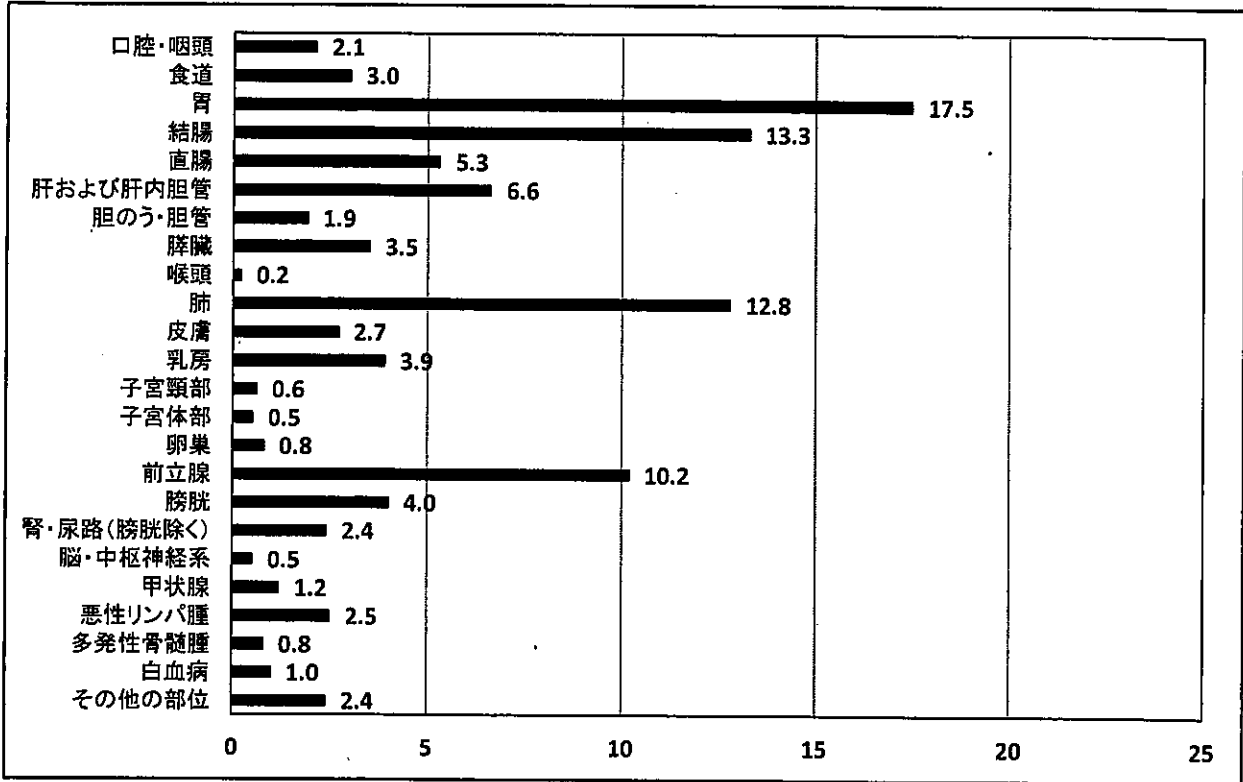


【80-84歳】

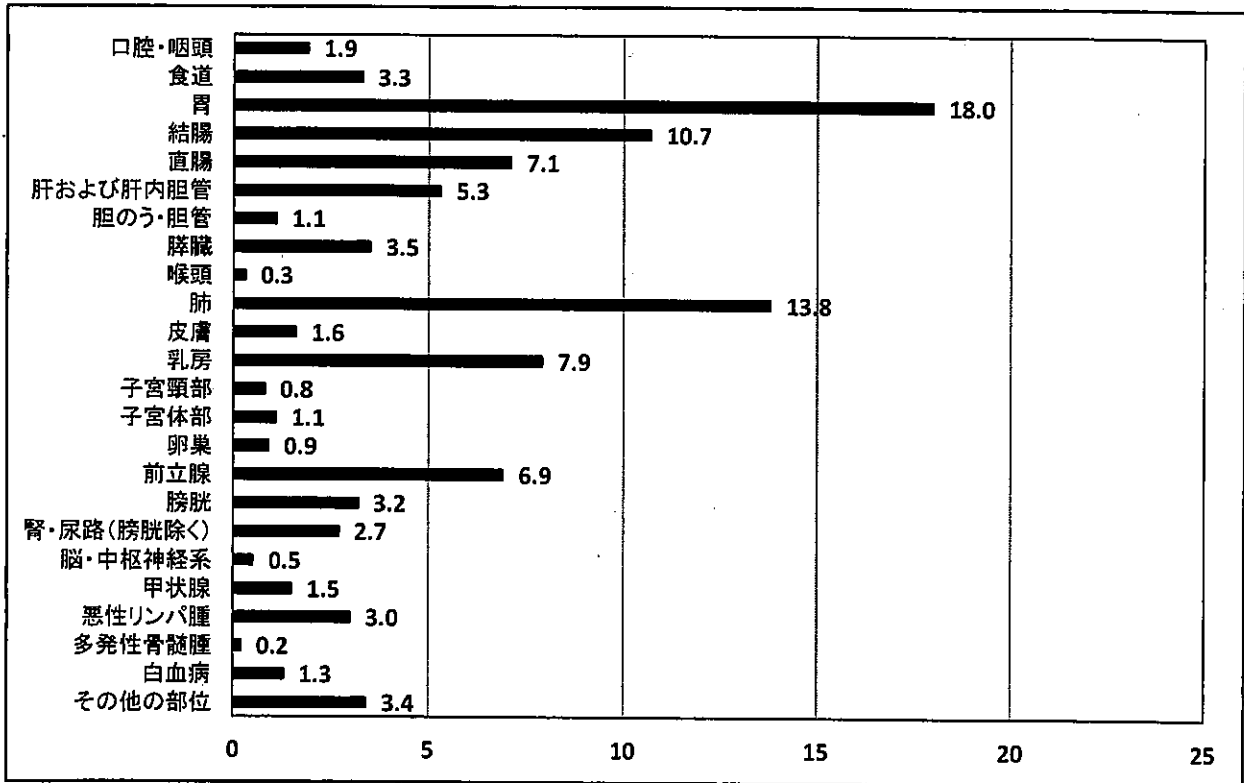


70歳代では、胃がん、結腸がん、肺がん、乳がんの順で高く、60歳代では胃がん、肺がん、結腸がん、乳がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

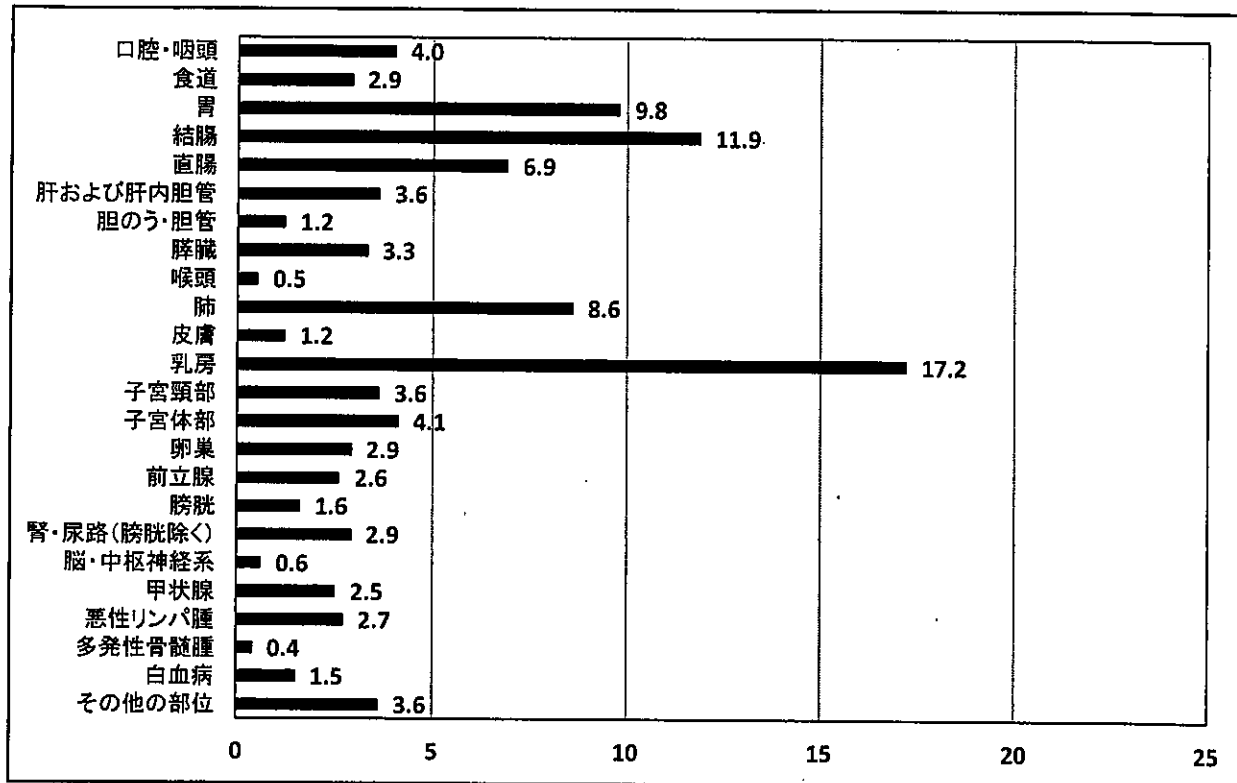


【60-69歳】

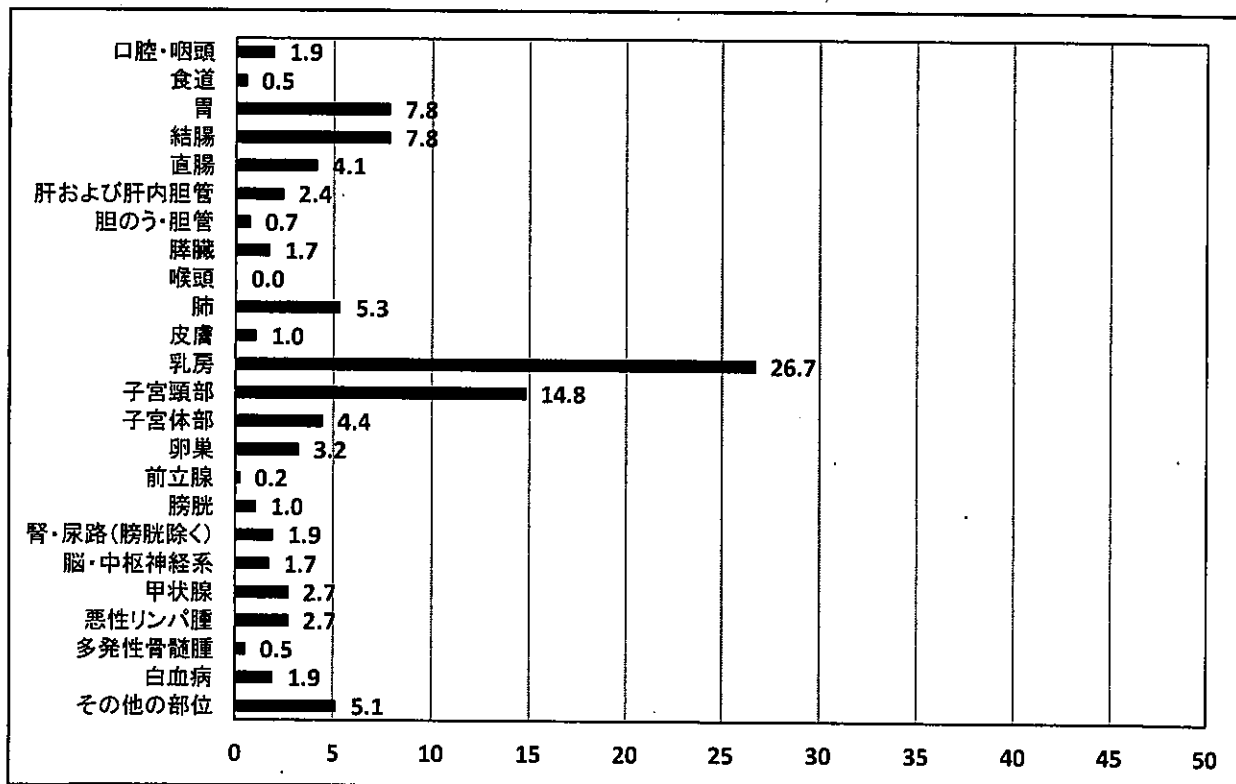


50歳代では、乳がん、結腸がん、胃がん、肺がんの順で高く、40歳代では乳がん、子宮頸部がん、胃がんと結腸がんの順で高くなっている。

【50-59歳】

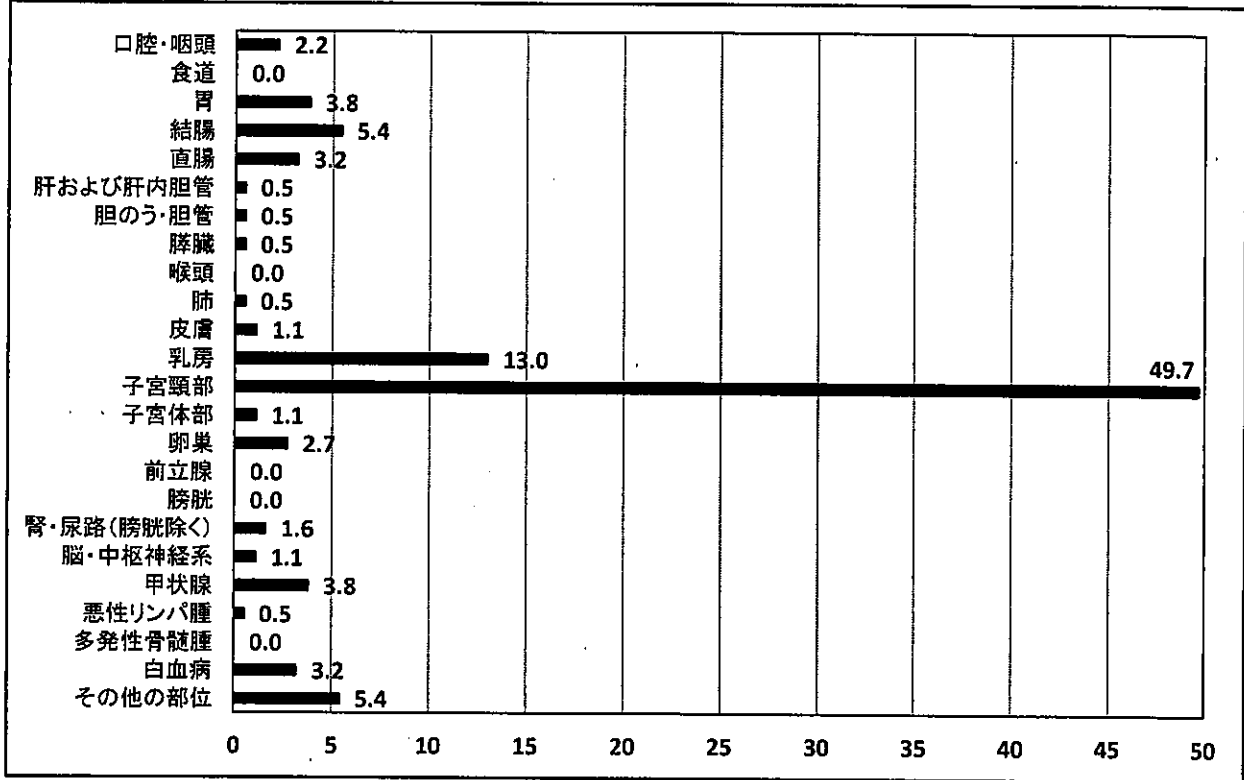


【40-49歳】

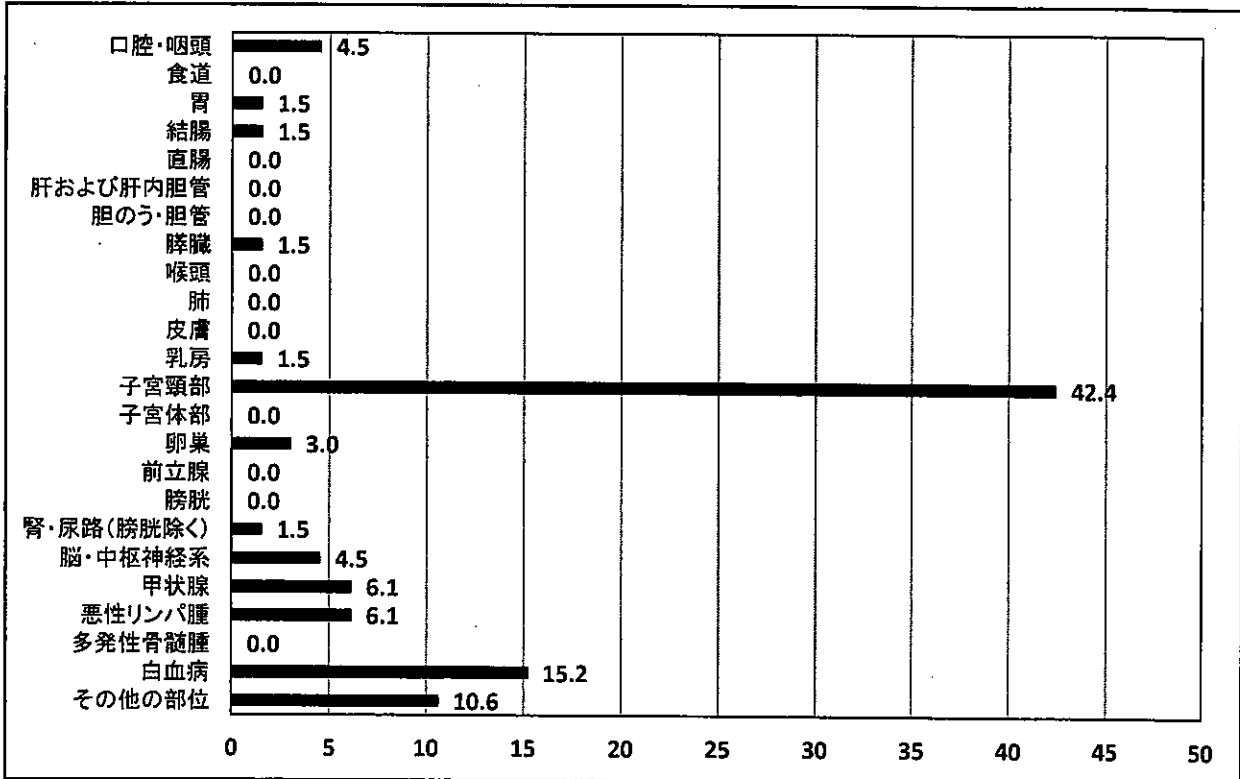


30歳代と20歳代以下では、子宮頸がんが突出して高く、4割を超えている。30歳代では乳がんが、20歳代以下では、白血病やその他の部位も高くなっている。

【30-39歳】



【0-29歳】

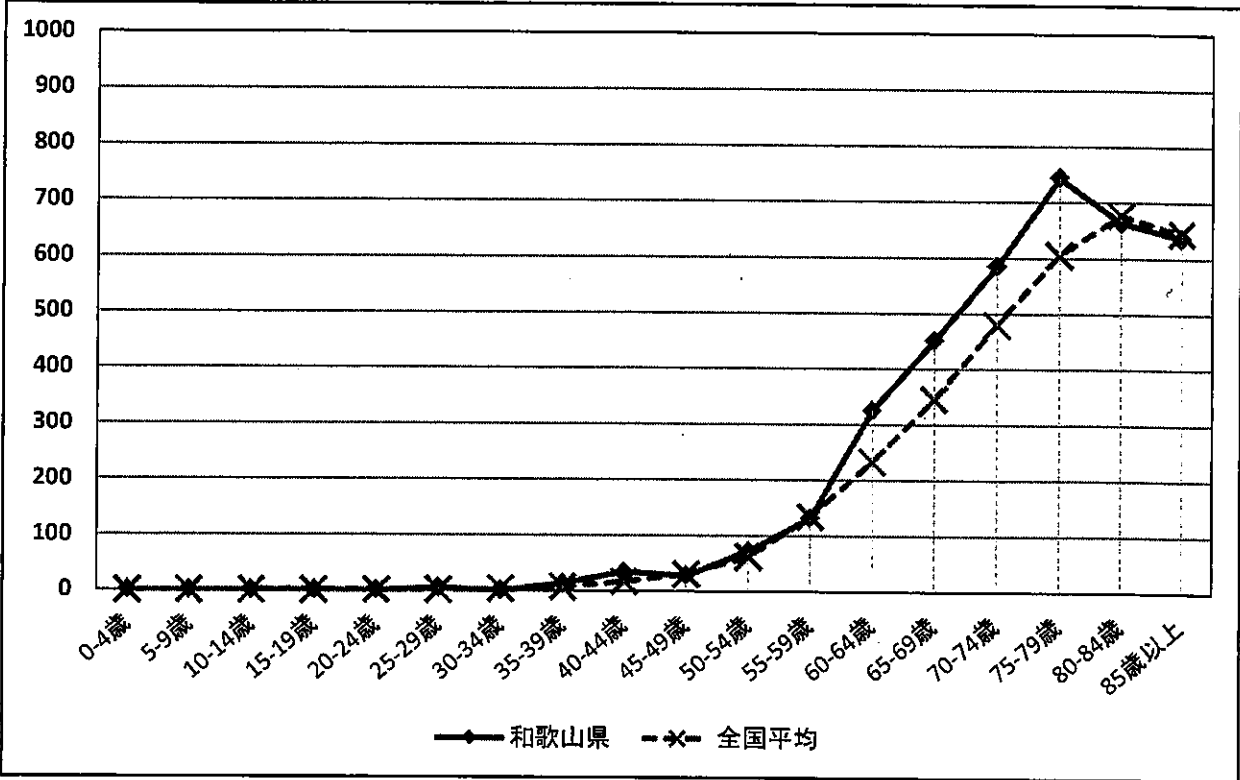


年齢階級別罹患率（人口10万対）：部位別、性別（主要部位）

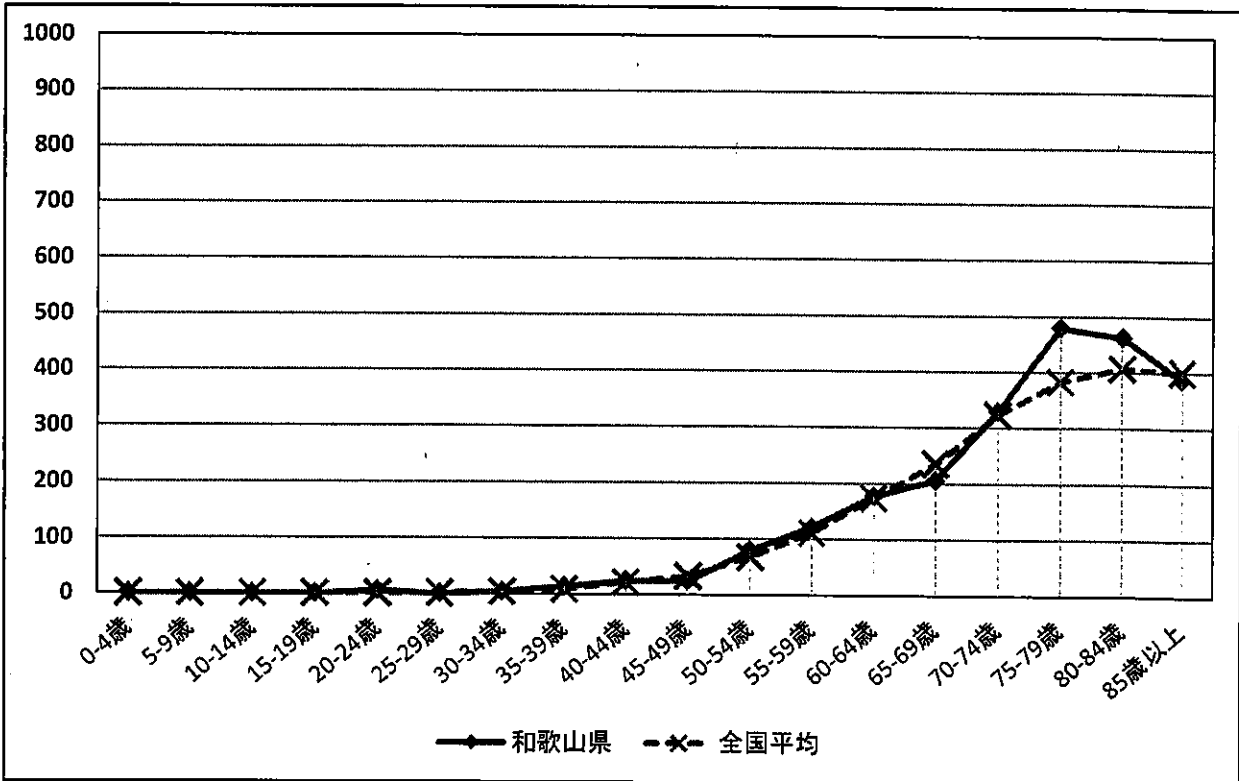
（和歌山県と全国平均との比較）男性 ※和歌山県の数字は、標準集計表の表3-A、3-Bから作成

本県の罹患率は全国平均と比較して、高い年齢層が多いが、直腸がん以外のがんにおいて、顕著に高い年齢層がある。

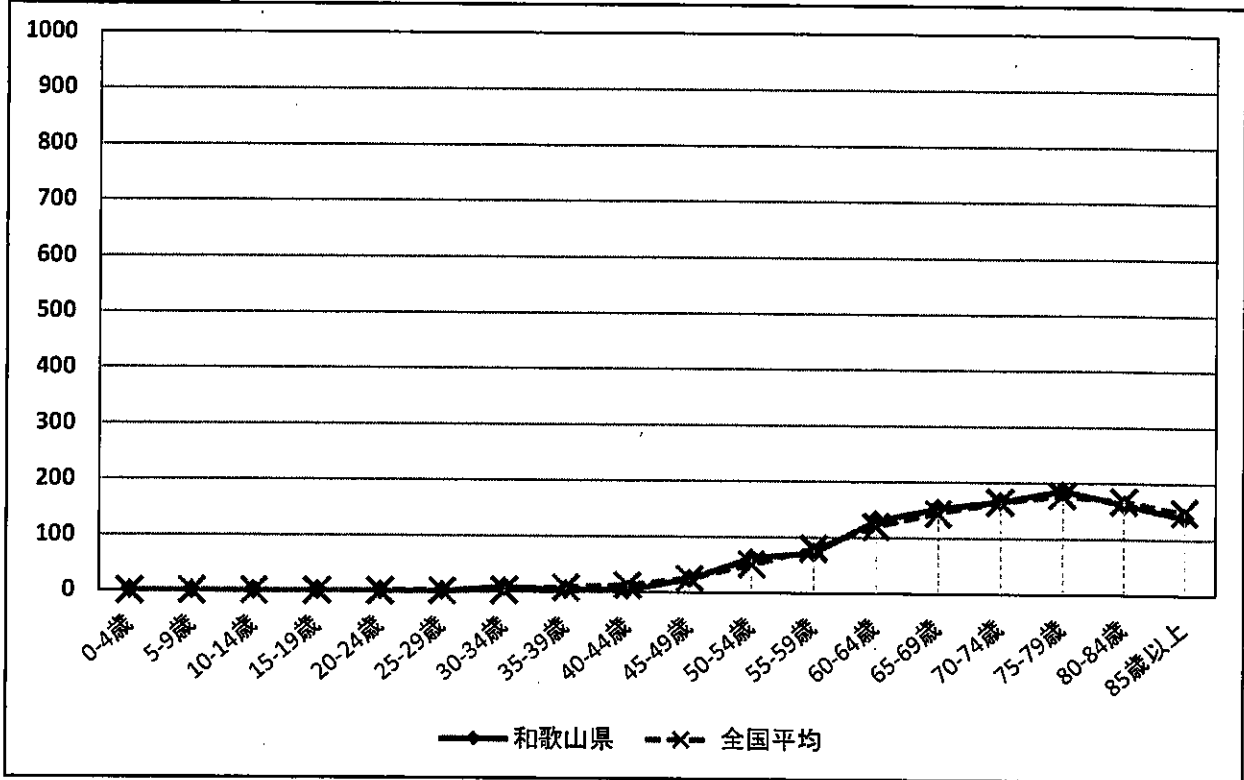
① 胃



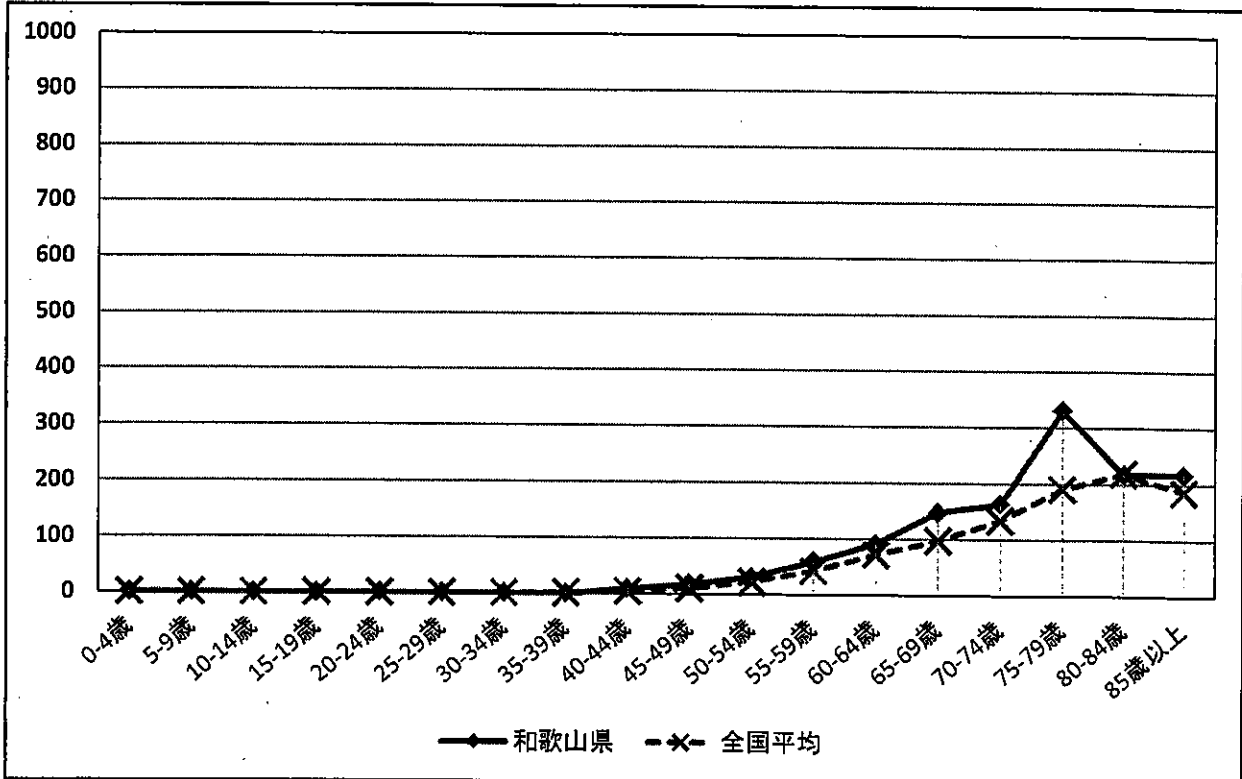
② 結腸



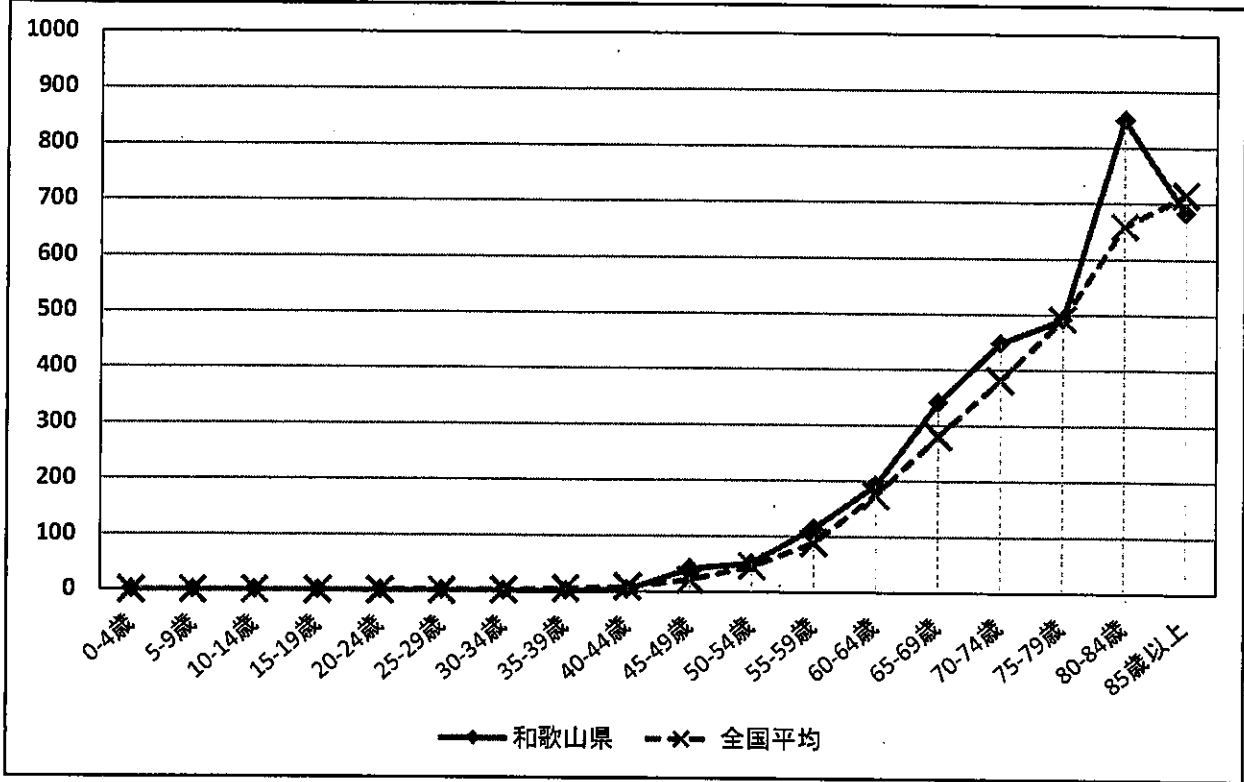
③ 直腸



④ 肝および肝内胆管



⑤ 肺



⑥ 前立腺

